

令和6年度（繰越）佐久市立野沢小学校ほか1校 空調設備設置工事 佐久市立野沢小学校

図面リスト

図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺
A-01	建築工事特記仕様書(1)	noscale	E-01	電気設備工事特記仕様書	noscale	M-01	機械設備工事特記仕様書	noscale
A-02	建築工事特記仕様書(2)	noscale	E-02	電灯設備 1階コンセント設備図	1/400	M-02	冷暖房機器表・撤去機器表	noscale
A-03	建築工事特記仕様書(3)	noscale	E-03	電灯設備 2階コンセント設備図	1/400	M-03	既設GHP配管系統図	noscale
A-04	建築工事特記仕様書(4)	noscale	E-04	電灯設備 3階コンセント設備図	1/400	M-04	1階冷暖房設備図	1/400
A-05	案内図・配置図	noscale 1/1,000				M-05	2階冷暖房設備図	1/400
A-06	設計概要表・仕上表(1)	noscale				M-06	3階冷暖房設備図	1/400
A-07	仕上表(2)	noscale				M-07	南校舎1階 生活科室・用務員室詳細図	1/100
A-08	1階平面図	1/400				M-08	中校舎1・2階 児童会室・相談室詳細図	1/100
A-09	2階平面図	1/400				M-09	南校舎1・2階 放送室・スタジオ詳細図	1/100
A-10	3階平面図	1/400				M-10	北校舎3階 普通教室(5-1)詳細図	1/100
A-11	建具表	1/60						
A-12	1階仮設計画平面図(参考図)	1/400						
A-13	2階仮設計画平面図(参考図)	1/400						
A-14	3階仮設計画平面図(参考図)	1/400						
A-15	仮設計画立面図(参考図)	1/300						

特記仕様書		1		※ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合 該当する建築材料 1) J I S 及び J A S の F ☆☆☆品 2) 建築基準法施行令第2 0 条の7 第4 項による国土交通大臣認定品 3) 次の表示のある J A S 適合品 a . 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b . 接着剤等不使用 c . 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d . ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e . 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用		15. 完成図等		※佐久市建築工事書類作成マニュアルによる。 <1. 8. 1><1. 8. 2><1. 8. 3>		2 6 養生		家具の移動 ・ 行う (図示) ○ 行わない <2. 3. 1> 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ・ 行わない 養生の方法 保管場所	
I 工 事 概 要		1 学 校 名 佐久市立野沢小学校 2 工 事 場 所 長野県佐久市取土町472番地3 3 用途地域等 都市計画区域 (○ 内 ・ 外) 用途地域 (第2種住居地域) 防火地域等 (・ 防火 ○ 準防火 ・ 指定なし ・ 2 2 条) その他の地域・地区 ()		4 主 要 用 途 小 学 校 5 敷 地 面 積 23,499.00 m ² 6 工 事 の 概 要 ※詳細は各図並びに仕上表改修内容参照		9. 室内の空気中の化学物質濃度の測定		※工事施工関係書類		7. 仮設間仕切り		8 監督職員事務所	
1) 空調設備設置工事 令和7年工事 南校舎1F:生活科室,用務員室 南校舎2F:放送室,スタジオ 中校舎2F:児童会室,相談室 北校舎3F:普通教室 (5-1)		2) 上記空調設備設置工事に関わる付帯電気設備工事		3) 上記空調設備設置工事に関わる付帯建築工事 天井内空調室内機用吊金物の設置 (機械設備工事) 及び左記工事に伴う天井材の撤去・復旧 空調室外機用基礎設置 設備配管等によるアスベスト含有仕上材 (該当箇所に限る) への穴明け 空調室内機各箇所及び同配線工事に伴う天井点検口 (450角) の設置		測定対象物質 ※ ホルムアルデヒド (濃度指針値 100 μ g / m ³ ・ 0. 08ppm) ※ ストレイン (濃度指針値 220 μ g / m ³ ・ 0. 05ppm) ※ トルク (濃度指針値 260 μ g / m ³ ・ 0. 07ppm) ※ エネルギー (濃度指針値 3, 800 μ g / m ³ ・ 0. 88ppm) ※ キルン (濃度指針値 200 μ g / m ³ ・ 0. 05ppm) ※ パラジチクロベンゼン (濃度指針値 240 μ g / m ³ ・ 0. 04ppm)		※工事完成資料		10 特別な材料の工法		11. 建築基準法による風圧力等の指定	
7 別 途 工 事		8 そ の 他 9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。 ・ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書 ・ 解体工事特記仕様書 ○ 電気設備工事特記仕様書 ○ 機械設備工事特記仕様書		II 建 築 工 事 仕 様		測定する室等: ()		※保守管理資料		3. 改質アスファルトシート防水		4. 合成高分子系ルーフィングシート防水	
1. 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書 (令和7年版) 」 (以下、「改修標準仕様書」という。) による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書 (令和7年版) 」 (以下「標準仕様書」という。) 及び「建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版) 」 (以下「解体共通仕様書」という。) による。 なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。		2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の < > , () 及び [] 内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		10 特別な材料の工法		測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡しは受けない。 「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。		※完成図		5. 塗膜防水		6 シーリング材料の種類及び施工箇所	
章 項 目		特 記 事 項		12 設計 G L		13. 施工調査		※提出書類は監督員と協議の上決定する。		7. シーリング改修工法		8. と い	
1 一般事項		○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ○ 施工体系図を現場に掲示すること。 ○ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況 (地盤, 擁壁, 内外壁, 床, 建具等) を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示		12 設計 G L		13. 施工調査		※写真撮影は専門業者による。		10. アルミニウム製笠木		11. 防水保証	
2 適用基準等		○ 建築改修工事監理指針 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ○ 建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版) ○ 工事写真の撮り方改訂第3版<建築編> (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)		14 技 能 士		15. 防水改修工事		施工範囲 各工事の区分表による。 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
3. 概成工期		工事工期より 日 前 <1. 1. 2>		15. 防水改修工事		16 外壁改修工事		工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 ※ 請負業者賠償責任保険 保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
4 工事実績情報 (CORINS) の登録		※ 適用する (請負精算額が500万円以上の場合) <1. 1. 4> 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない		16 外壁改修工事		17 建具改修工事		工事に使用する機器及び材料 (以下「機材」という) は、国等による環境物等の調達に関する法律 (グリーン購入法) に定めるところにより、環境負荷を低減できる機材を選択するよう努めること。 調達品目「公共工事」の品目 ・ (今回なし) ・		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
5 発生材の処理等		発生材の処理 ・ 引渡しを要するもの () ・ 場外搬出適切処理 () ○ 現場において再利用を図るもの (既存天井材 (ジプトーン))		17 建具改修工事		18 内装改修工事		○ 設ける ・ 設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ・ 万能鋼板 (H=) ・ 波形鉄板 (H=) ・ 単管シート (H=) ○ ガードバリケード (H=1800) (H=) ・ シートゲート (H= , W=) × 箇所 ・ キャスターゲート (H= , W=) × 箇所		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
6 PCB (ポリ塩化ビフェニール) 含有機器		・ 有 (数量は図示) [5. 4. 3] ・ 無		18 内装改修工事		19 耐震改修工事		・ 配置する (日 × 人 = 人日) ・ 配置しない		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
7 PCB含有シーリング材		・ 有 (施工範囲は図示) [5. 4. 4] ・ 無		19 耐震改修工事		20 材料の品質等		・ ラフタークレーン (t 吊り) × 日 (t 吊り) × 日		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
8 電気保安		○ 適用する ・ 適用しない <1. 3. 3>		20 材料の品質等		21 環境への配慮		※ 設置する (設置枚数 1 枚) ・ 設置しない		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
9 事故報告		<1. 3. 10> 工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。		21 環境への配慮		22 材料の品質等		※ 設置する (設置枚数 1 枚) ・ 設置しない		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
10 建築材料等		材料の品質等 <1. 4. 2> ※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料に J I S 又は J A S のマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 環境への配慮 <1. 4. 1> ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。		22 材料の品質等		23 環境への配慮		内部足場 ※ 脚立、足場板等 ・ 杵組棚足場 <2. 2. 1> 外部足場 ※ A 種 ・ B 種 ・ C 種 <表2. 2. 1> 防護シート ・ 設ける ○ 設けない 材料の運搬 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 <表2. 2. 2> ・ D 種 ※ E 種 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によると共に、その高さが10m以上且つ組立から解体までの設置期間が60日を超えるものについては、労働安全衛生法第88条に定める計画の届出を設置工事開始の30日前までに所轄の労働基準監督署長に届ける。		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
Revision		一般建築士事務所		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		〒384-2105 長野県佐久市矢輪708-2 phone/fax 0267-58-4525		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	
一般建築士事務所		長野県知事登録 (佐久) G 第 04272 号		一般建築士事務所		一般建築士事務所		2 仮 設 工 事		9. 2 と い		10. アルミニウム製笠木	

[illegible]

工 事 概 要 表

学 校 名	佐久市立野沢小学校		建 築 主	氏 名	佐久市長 柳田 清二	
建 設 地	長野県佐久市取出町472番地3			住 所	〒385-0051 長野県佐久市中込3056番地 TEL. 0267 - 62 - 2111	
敷 地 面 積	23,499.00 m ² (7,109.86 坪)					
用 途 地 域	準住居地域・第二種住居地域					
防 火 指 定	準防火地域					
地 域 ・ 地 区						
前 面 道 路	幅 員 敷地に接する長さ					
そ の 他	無 し					
主 要 用 途	小 学 校					
工 事 種 別	改修(空調設備)					
構 造	鉄筋コンクリート造3階建て(ラーメン構造)		備 考			
規 模	建築面積 3,764.06 m ² (1,138.85 坪)	3F床面積 664.95 m ² (201.19 坪)				
		2F床面積 3,701.11 m ² (1,119.81 坪)				
		1F床面積 4,010.29 m ² (1,213.35 坪)				
		延床面積 8,376.35 m ² (2,534.35 坪)				
建 物 高 さ	最高高さ 9.900 m	最高軒高 7.700 m				
建蔽率・容積率	建 蔽 率 16.02 % < 60.00 % 容 積 率 35.65 % < 200.00 %					

外部仕上表

		仕 上
部 位	屋 根	折板 一部ガルベシウム鋼板 t=0.8葺き(断熱材裏打)+防蝕コト(ハイアルマ) 吹付 h=130~150
外 壁		コンクリート 打放し+アクリルリシン吹付 一部モルタル下地+磁器質タイル貼付 ※中校舎のみアクリルリシン(アベト含有建材ベール)
開 口 部		カラーアルミ製サッシ(70見込) アルマイト処理シルバー色 スチール製ドア
基 礎		コンクリート 基礎+モルタル補修
軒 裏		コンクリート 打放し+アクリルリシン吹付 一部ケイカル板=6+アクリルリシン吹付
破風・鼻隠板		
雨 樋		軒樋: 折版用角樋 壁樋: VUΦ125VP 塗装
犬 走 り		土間コンクリート t=120金網押え
ベ ラ ン ダ		床: 防水モルタル金網仕上 立上り: コンクリート 打放し 手摺: 既成アルミ手摺

※中校舎外壁仕上材のアクリルシスはアハ[®]に含まれる建材(バ[®]ル3)として適切に処理する。

内部仕上表

階	室名	仕上区分	床			巾木			腰				壁			天井					備考																					
			床高	仕上	ホルムアルデヒド放散種別	仕上	塗装	高さ	仕上	塗装	高さ	防火認定番号 MJA777付放散種別	仕上	塗装	防火認定番号 MJA777付放散種別	仕上	塗装	防火認定番号 MJA777付放散種別	廻縁	天井高																						
北校舎	1階	第一音楽室	下地	±0	エグレット+珪藻土金網押え O貼付 一部 路勾ウレタ塗床=3	規制対象外	木製巾木	OP	100				木脚縁組 有孔シタ=6+寒冷紗裏打	OP	規制対象外	LGS	有孔シタ=6+寒冷紗裏打+QV=50	OP	規制対象外	木製廻縁 OP	3,200																					
			仕上																																							
	第一理科室	下地	↑	エグレット+珪藻土金網押え ウレタ塗床=3	規制対象外	↑	↑	↑				RC	VP	規制対象外	LGS	ジブト=9.0 455×910 一部 梁底 有孔シタ=6目透し張り	↑	規制対象外 準不燃2005号 規制対象外	↑	3,050																						
		仕上																																								
	中校舎	1階	第二理科室	下地	↑	↑	↑	↑	↑	↑			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑																				
仕上																																										
理科準備室				下地																				↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑			↑	↑	↑	LGS	ジブト=9.0 455×910	/	規制対象外 準不燃2005号 規制対象外	↑	↑	
	仕上																																									
	図工室	下地	↑	エグレット+珪藻土金網押え 珪藻土バケツ貼付+ウレタ塗装	規制対象外	↑	↑	↑	↑			↑	↑	↑	LGS	ジブト=9.0 455×910 一部 梁底 有孔シタ=6	OP	規制対象外 準不燃2005号 規制対象外	↑	3,100																						
仕上																																										
1階		校長室																				下地	↑	↑	↑	↑	↑	↑			木脚縁組+シタ=6 ビニルクロ膜貼	/	規制対象外	LGS+FR=9.0	/	規制対象外	↑	2,850				
	仕上																																									
	事務室		下地	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑			RC	VP	規制対象外	LGS	ジブト=9.0 455×910	/	規制対象外 準不燃2005号 規制対象外	↑	↑																					
仕上																																										
職員室		下地	↑																				↑	↑	↑	↑	↑	↑			↑	↑	↑	LGS	ジブト=9.0 455×910 一部 梁底 有孔シタ=6目透し張り	OP	規制対象外 準不燃2005号 規制対象外	↑	3,050			
	仕上																																									
	1階	生活科室		下地	↑	エグレット+珪藻土+珪藻土バケツ貼付+ウレタ塗装 +耐水珪藻土合板=12	規制対象外	↑	↑	↑			RC	VP	規制対象外	LGS	ジブト=9.5 910×1820程度×1箇所一時撤去・再取付(撤去材再利用)	↑	↑	↑	↑	↑																			空調機取付部天井材(ジブト=9.5)910×1820程度×1箇所一時撤去・再取付(撤去材再利用)	
仕上																																								空調室内機点検用450角天井点検口×1箇所取付		
南校舎	用務員室	下地	↑	エグレット+珪藻土金網押え ウレタ塗床=3	規制対象外	↑	↑	↑	RC	吹付珪藻土	1900	規制対象外	RC	VP	規制対象外	LGS	ジブト=9.5 910×1820程度×1箇所一時撤去・再取付(撤去材再利用)	↑	↑	↑	↑	↑	空調機取付部天井材(ジブト=9.5)910×1820程度×1箇所一時撤去・再取付(撤去材再利用)																			
		仕上																																								
北校舎	2階	第二音楽室	下地	±0	エグレット+珪藻土金網押え タイルベタ貼	規制対象外	↑	↑	↑			木脚縁組	OP	規制対象外	LGS	有孔シタ=6+寒冷紗裏打+QV=50	↑	規制対象外	↑	3,200																						
			仕上																																							
	2階	図書室	下地	↑	↑	↑	↑	↑			RC	VP	規制対象外	LGS	ジブト=9.0 455×910 一部 梁型 有孔シタ=6目透し張り	↑	規制対象外 準不燃2005号 規制対象外	↑	3,300																							
			仕上																																							
中校舎	特別支援学級	下地	↑	↑	↑	↑	↑	↑			木脚縁組	OP	規制対象外	LGS	有孔シタ=6+寒冷紗裏打	↑	規制対象外	↑	↑	↑																						
		仕上																																								
北校舎	相談室	下地	↑	↑	↑	↑	↑	↑			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑																					
		仕上																																								
機械設備工事: 空調室内機 天井吊形 ×1台既存(北3F普通教室5-1)移設																																										

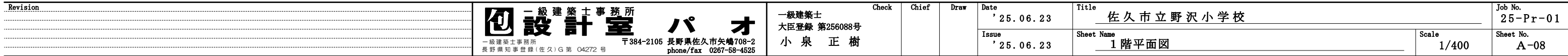
[illegible]

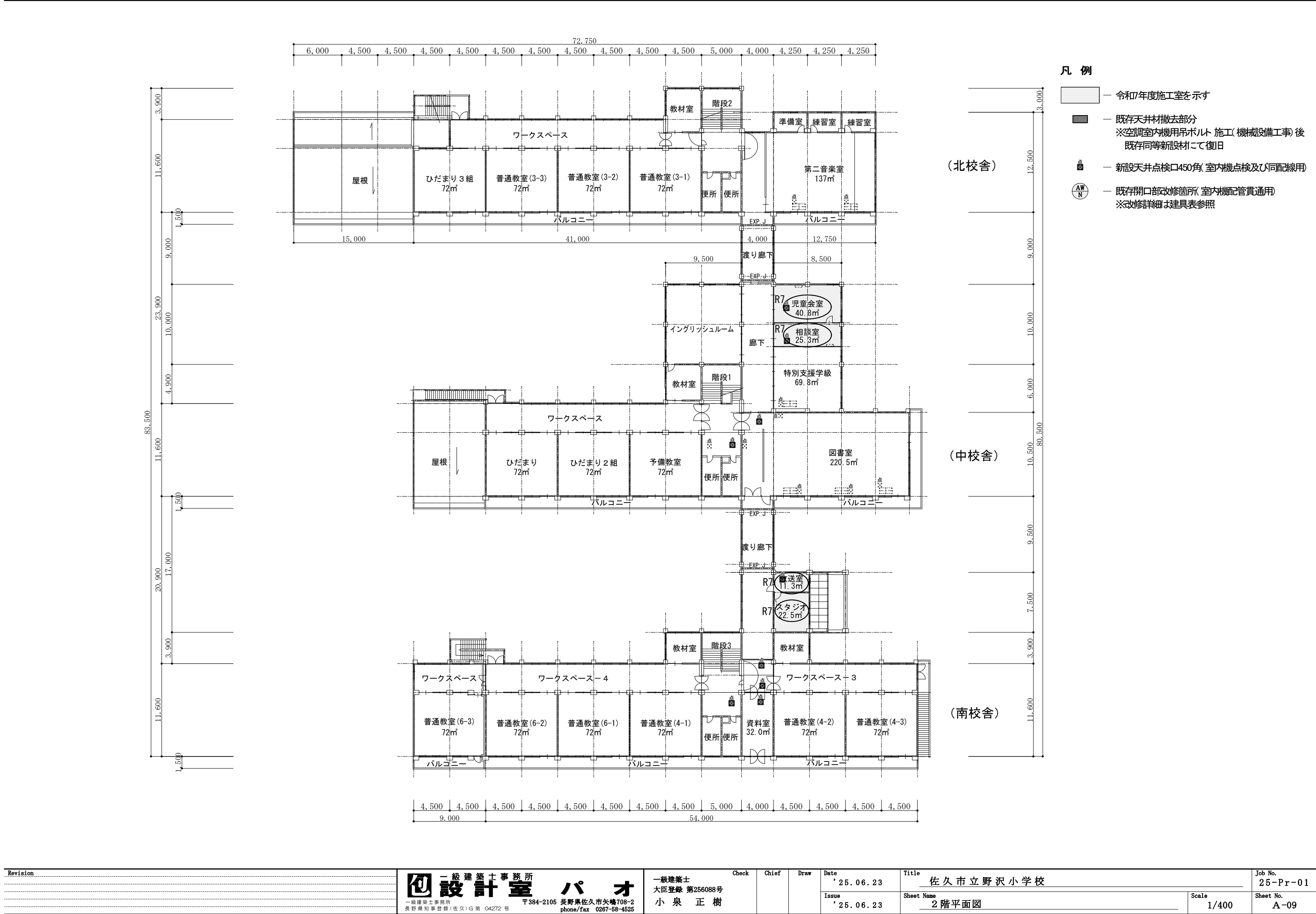
Revision	 一級建築士事務所 設計室 パオ 一級建築士事務所 長野県知事登録(佐久)G第 04272 号 〒384-2105 長野県佐久市矢嶋708-2 phone/fax 0267-58-4525	Check Chief Draw Date ' 25.06.23 Issue ' 25.06.23	Title 佐久市立野沢小学校 Sheet Name 設計概要表・仕上表(1) Scale noscale	Job No. 25-Pr-01 Sheet No. A-06
----------	--	---	--	--

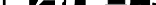
内 部 仕 上 表

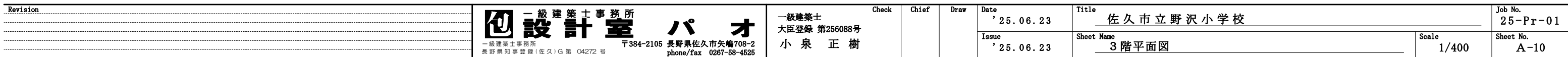
階	室 名	仕上区分		床		巾 木			腰				壁			天 井					備 考
				床 高	仕 上	仕 上	塗 装	高 さ	仕 上	塗 装	高 さ	防火認定番号 耐火性能 放散種別	仕 上	塗 装	防火認定番号 耐火性能 放散種別	仕 上	塗 装	防火認定番号 耐火性能 放散種別	廻 縁	天井高	
中学校舎	2階	児童会室	下 地	±0	コンクリート+モルタル金鍍押え	規制対象外	木製巾木	OP	100				木脚縁組	OP	規制対象外	LGS	OP	規制対象外	木製廻縁 OP	3.300	機械設置工事：空調室内機(壁掛形)×1台既存(北3F普通教室5-1)移設
			仕 上		タイルベタ貼リ	規制対象外															
南校舎	2階	放 送 室	下 地	±0	木床組+コバ 板=9+12	規制対象外	↑	↑	↑				木脚縁組	OP	規制対象外	LGS	↑	規制対象外	↑	2.300	機械設置工事：空調室内機(壁掛形)×1台既存(中2F音楽室)移設
			仕 上	±0	一部コンクリート+モルタル金鍍押え タイルベタ貼=5.5 一部タタタ床=3	規制対象外															
		スタジオ	下 地	±0	コンクリート+モルタル金鍍押え	規制対象外	↑	↑	↑				↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		機械設置工事：空調室内機(壁掛形)×1台新設
			仕 上		タイルベタ貼=5.5	規制対象外															
北校舎	3階	家庭科室	下 地	±0	コンクリート+モルタル金鍍押え	規制対象外	↑	↑	↑				RC	VP	規制対象外	LGS	EP	規制対象外	↑	3.200	
			仕 上		タタタ床=3	規制対象外															
		普通教室 (5-1)	下 地	±0	コンクリート+モルタル金鍍押え	規制対象外	↑	↑	↑				RC	OP	規制対象外	LGS	EP	規制対象外	↑	3.050	空調機取付部(天井材)ジブトス=9.5)910×1820程度×2箇所一時撤去・再取付(撤去材再利用) 空調室内機点検用450角天井点検口×2箇所取付
			仕 上		タイルベタ貼(タタタ塗装 貼リ)	規制対象外															
			下 地																		
			仕 上																		
			下 地																		
			仕 上																		
			下 地																		
			仕 上																		
			下 地																		
			仕 上																		
			下 地																		
			仕 上																		
			下 地																		
			仕 上																		
			下 地																		
			仕 上																		
			下 地																		
			仕 上																		
			下 地																		
			仕 上																		
			下 地																		
			仕 上																		
			下 地																		
			仕 上																		
			下 地																		
			仕 上																		
			下 地																		
			仕 上																		

凡 例 材 料				塗装材料				防火認定番号				建具記号				硝 子				※当該作業により天井等仕上材を撤去し新たな材料を用いて復旧する際は現行の同等品を使用する。 ※空調室内機点検用及び電気配線用点検口設置位置及び数量は監督員と要打合せの事			
LGS	軽量鉄骨下地	F B	フラットバー	O P	合成樹脂調合ペイント	OSV	オイルステインワニス	耐 火	—	FP(—)		W D	木製ドア	SM SH	防煙シャッター	F	複	F L	フロート板硝子	凡 例 表内ハッチングは工事該当室を示す			
ALC	気泡コンクリートパネル	R C	鉄筋コンクリート	E P	酢酸ビニール樹脂系エマルジョンペイント	Z C	多彩模様塗料	準 耐 火	—	QF(—)		S D	スチールドア	S H	シャッター	F D	戸換	F	型板硝子				
C B	コンクリートブロック	C PL	チェッカープレート	A E P	アクリル樹脂系エマルジョンペイント			不 燃	—	NM(—)		A D	アルミドア	W W	木製窓	S	障子	P W	網入磨き板硝子				
T B	テラスブロック			V P	塩化ビニル樹脂エナメル			準 不 燃	—	QM(—)		SSD	ステンレスドア	S W	スチール窓			F W	網入型板硝子				
P B	プラスターボード			O S	オイルステイン			難 燃	—	RM(—)		TGD	強化ガラスドア	A W	アルミ窓			T G	強化硝子				
R B	ラスボード			F P	フタル酸樹脂エナメル				—			OSD	オーバースライダー	A G	アルミガラリ								
SUS	ステンレス			C L	クリヤラッカー				—			FSD	防火扉	S R	スクリーン及既製間仕切								
A L	アルミ			U C	—液ウレタンワニス							F SH	防火シャッター	T B	トイレブース								





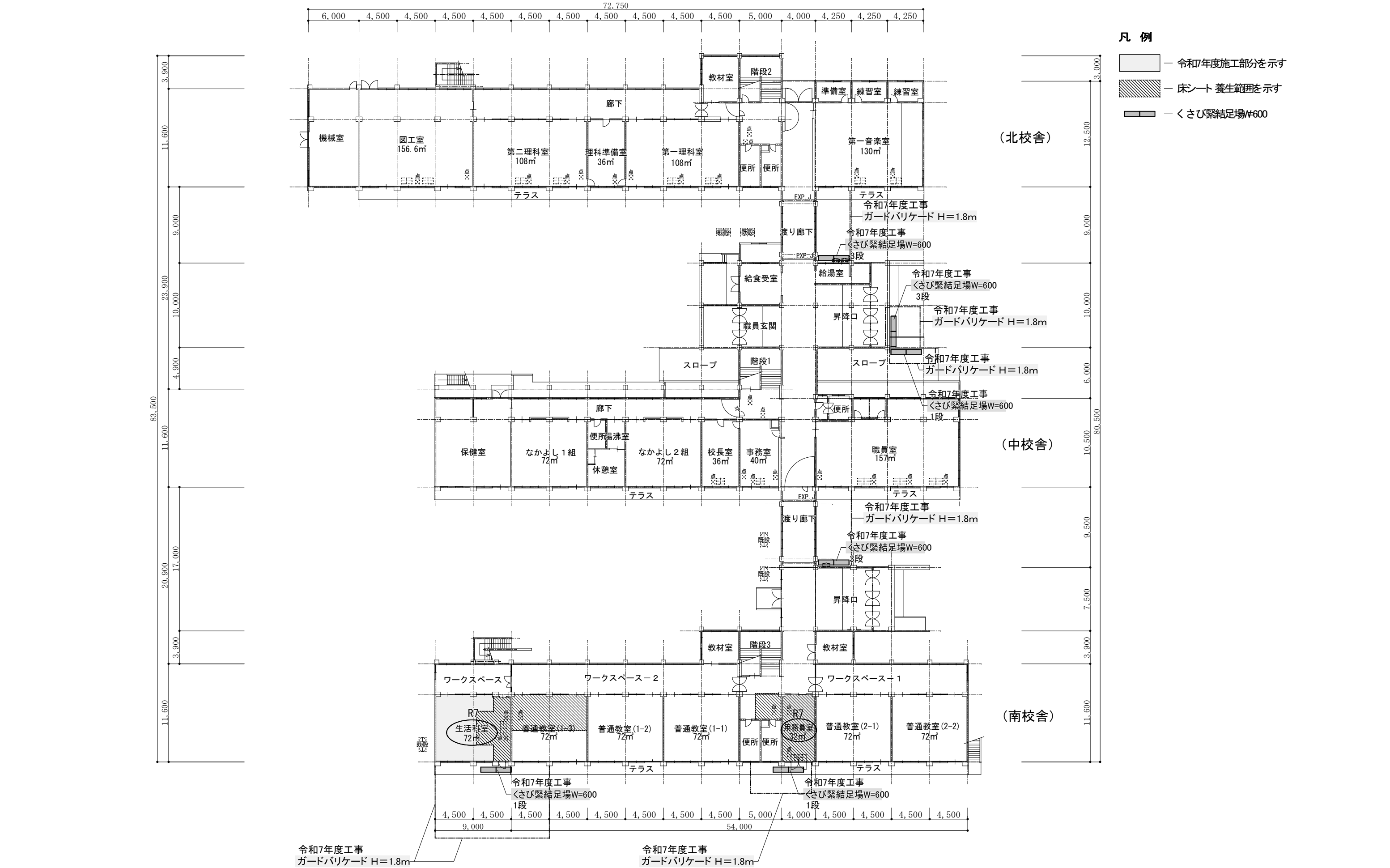
Revision	 一級建築士事務所 設計室 パオ 一級建築士事務所 長野県知事登録(佐久)G第 04272号 〒384-2105 長野県佐久市矢幡708-2 phone/fax 0267-58-4525	Check	Chief	Draw	Date	Title		Job No.
					' 25. 06. 23	佐久市立野沢小学校		25-Pr-01
					Issue	Sheet Name	Scale	Sheet No.
					' 25. 06. 23	2階平面図	1/400	A-09

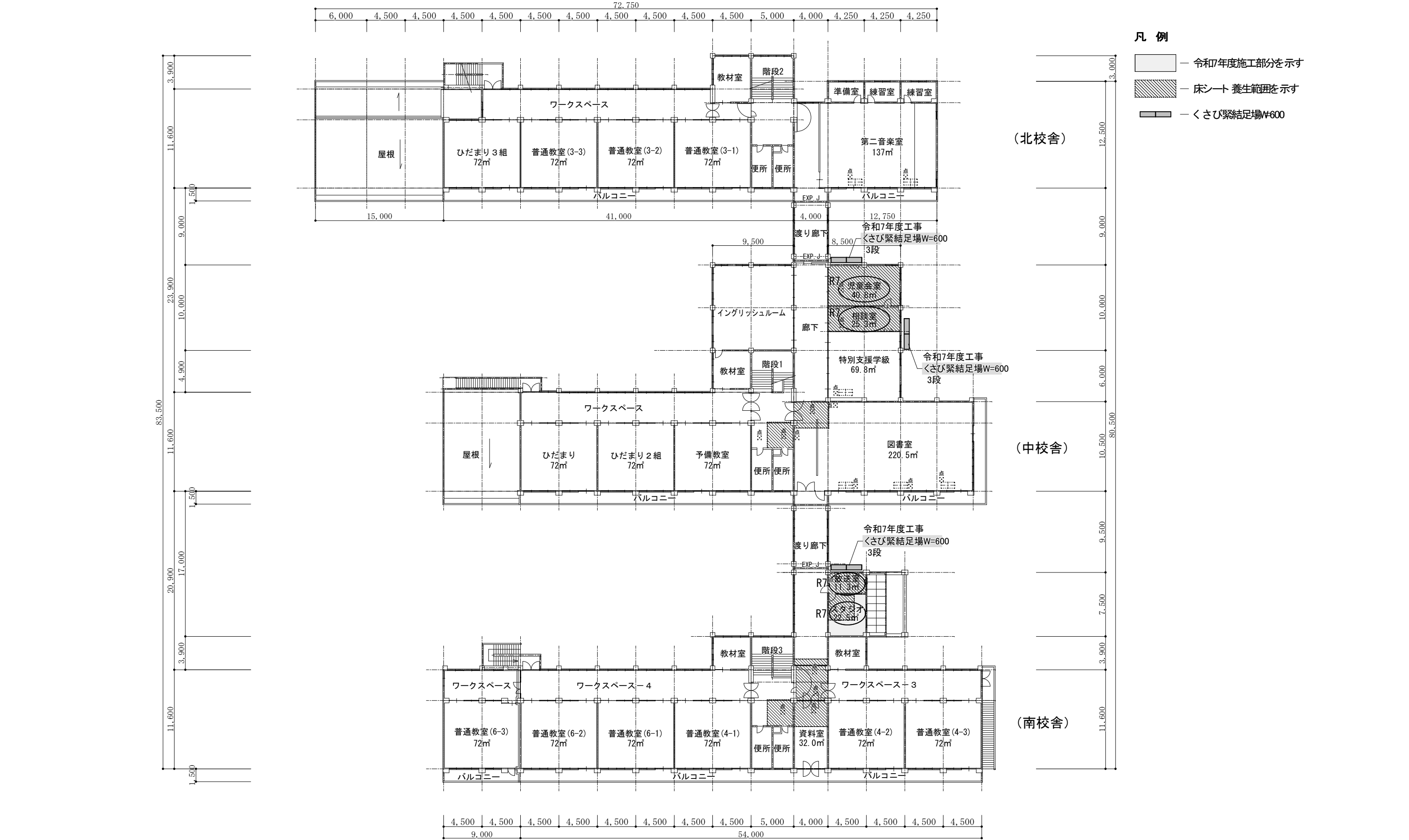


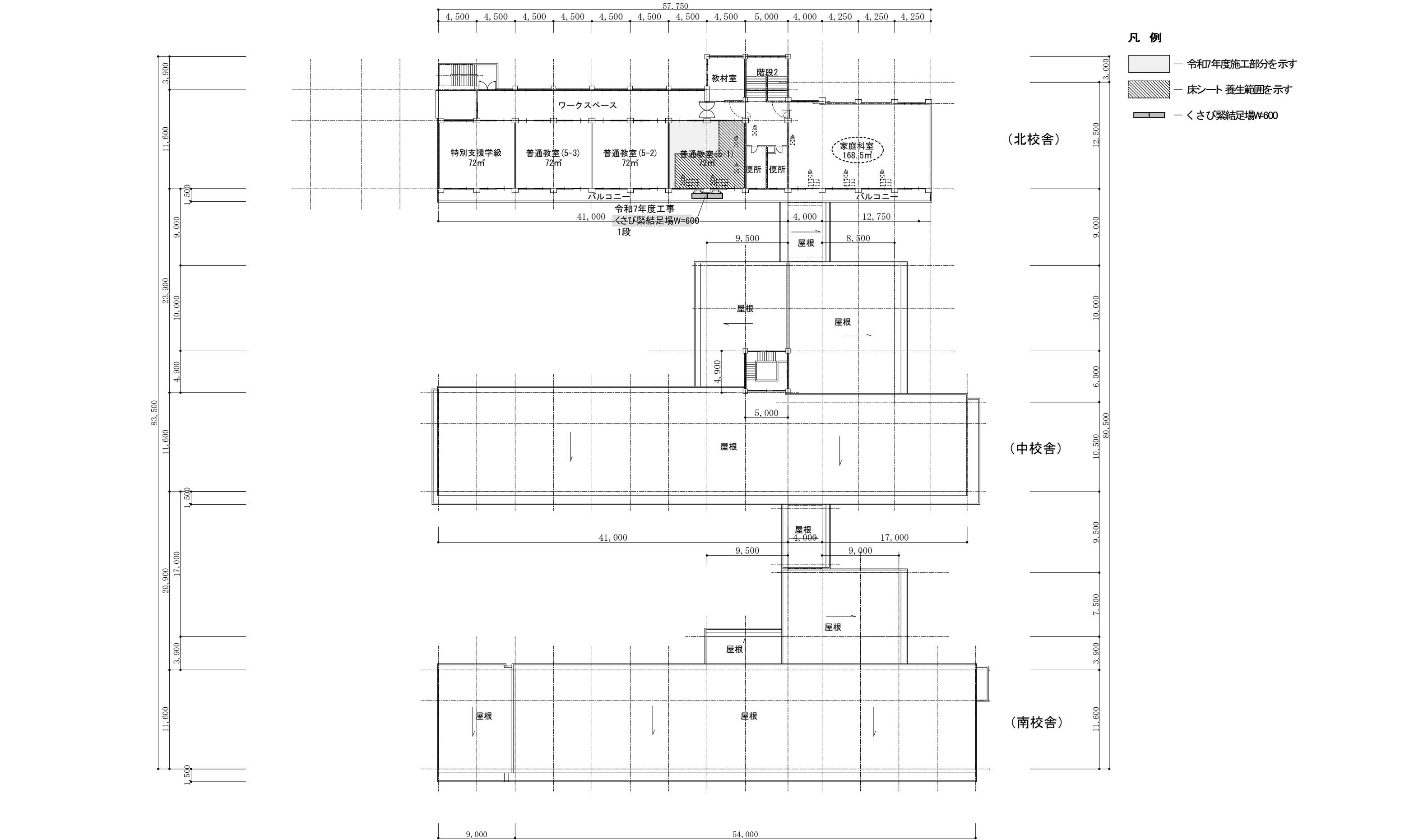
記号・使用場所・数量	AD 10 1F南校舎 生活科室 1	
形状・寸法		
形式	アルミ片開きドア (ランマ:Fix)	
見込	70	
材料	アルミ(電解着色)	
硝子 / 鏡板	既存 / 改修部: アル樹脂複合板t=3シルバー	
附属金物	握り玉 丁番 本締り錠 DC 段窓無目 AL額縁 他付属金物一式	

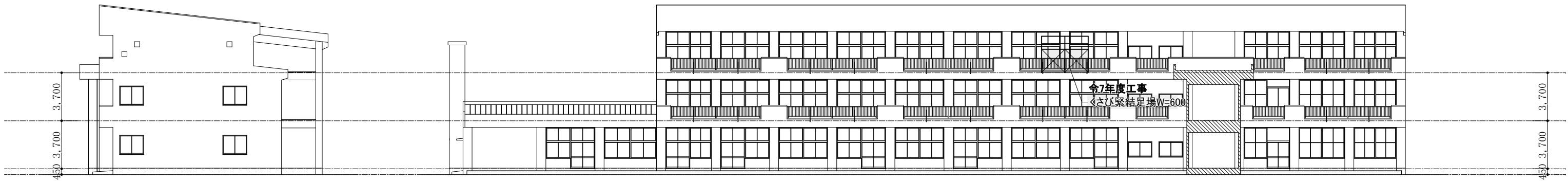
記号・使用場所・数量	
形状・寸法	
形式	
見込	
材料	
硝子／鏡板	
附属金物	

建具記号 W D 木製ドア FSH 防火シャッター W G 木製ガラリ S 障子 S D スチールドア SMSH 防煙シャッター S G スチールガラリ S R スクリーン及既設開口仕 A D アルミ窓サッシ SH シッシュー A G アルミガラリ SLD スライディングウォール SSD ステンレスドア W W 木製窓 SGG ステンレスガラリ S P スチールパーテーション P D 樹脂製ドア S W スチール窓 GGB 硝子ブロック A P アルミパーテーション TGD 強化ガラスドア A W アルミ窓 S M 防煙重し壁 T B トイレブース OSD オーバースライダー SSW ステンレス窓 F 襖 FSD 防火扉 P W 樹脂製窓 F D 戸襖										硝子 F L フロート板硝子 P W 型板硝子 F H 網入型板硝子 HFL 熱線吸収フロート板硝子 HPW 熱線吸収網入幕干板硝子 HFw 熱線吸収網入型板硝子 T G 強化硝子										材質・仕上 SUS ステンレス U C 一液ウレタンワニス A L アルミ OSV オイルステインワニス F B フラットペイント F P フタル酸樹脂エナメル H L ヘアライン O P 合成樹脂塗合ベイント O S オイルステイン C L クリヤラッカー										金物 P H ヒボットヒンジ F H フロアシビシ F H ラバパリーヒンジ D C ドアチェック A S アームストッパー										查摺形状 (a) (b) (c)										特記事項 ※ 図中の寸法は参考寸法とし必ず現場実測の上制作する事 ※ カバー工法 既存ガラスをアルミパネルに改修する位置は施工前一空調設備配管を確認の上決定する事 ※ 改修アルミパネル押えはシリコン6×6																																		
Revision																				一級建築士事務所 設計室 一級建築士事務所 〒384-2105 長野県佐久市矢嶋708-2 長野県知事登録(佐久)G第 04272号 phone/fax 0267-58-4525																				一級建築士 大臣登録 第256088号 小泉 正樹										Check					Chief					Draw					Date ' 25.06.23					Title 佐久市立野沢小学校										Job No. 25-Pr-01				
																																																																	Sheet Name 建具表(1)										Scale 1/60					Sheet No. A-11				



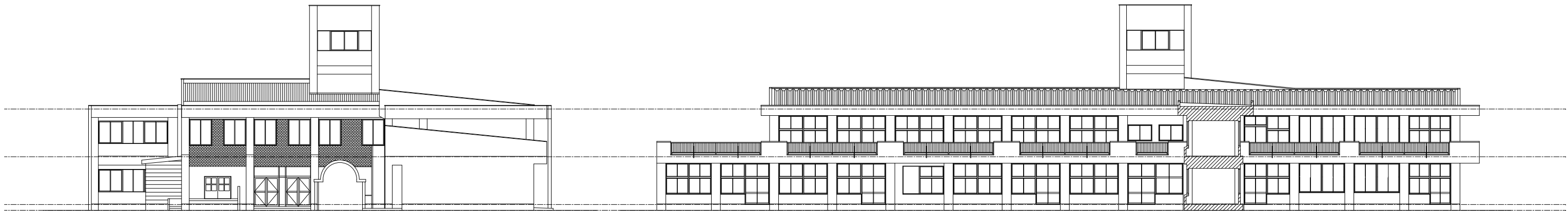






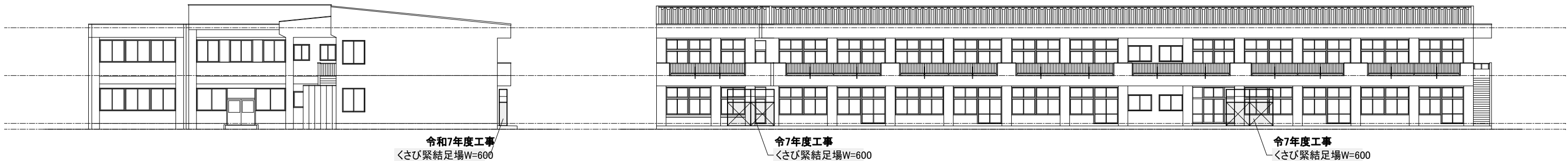
北校舎 東立面図 S=1/300

北校舎 南立面図 S=1/300



中校舎 西立面図 S=1/300

中校舎 南立面図 S=1/300



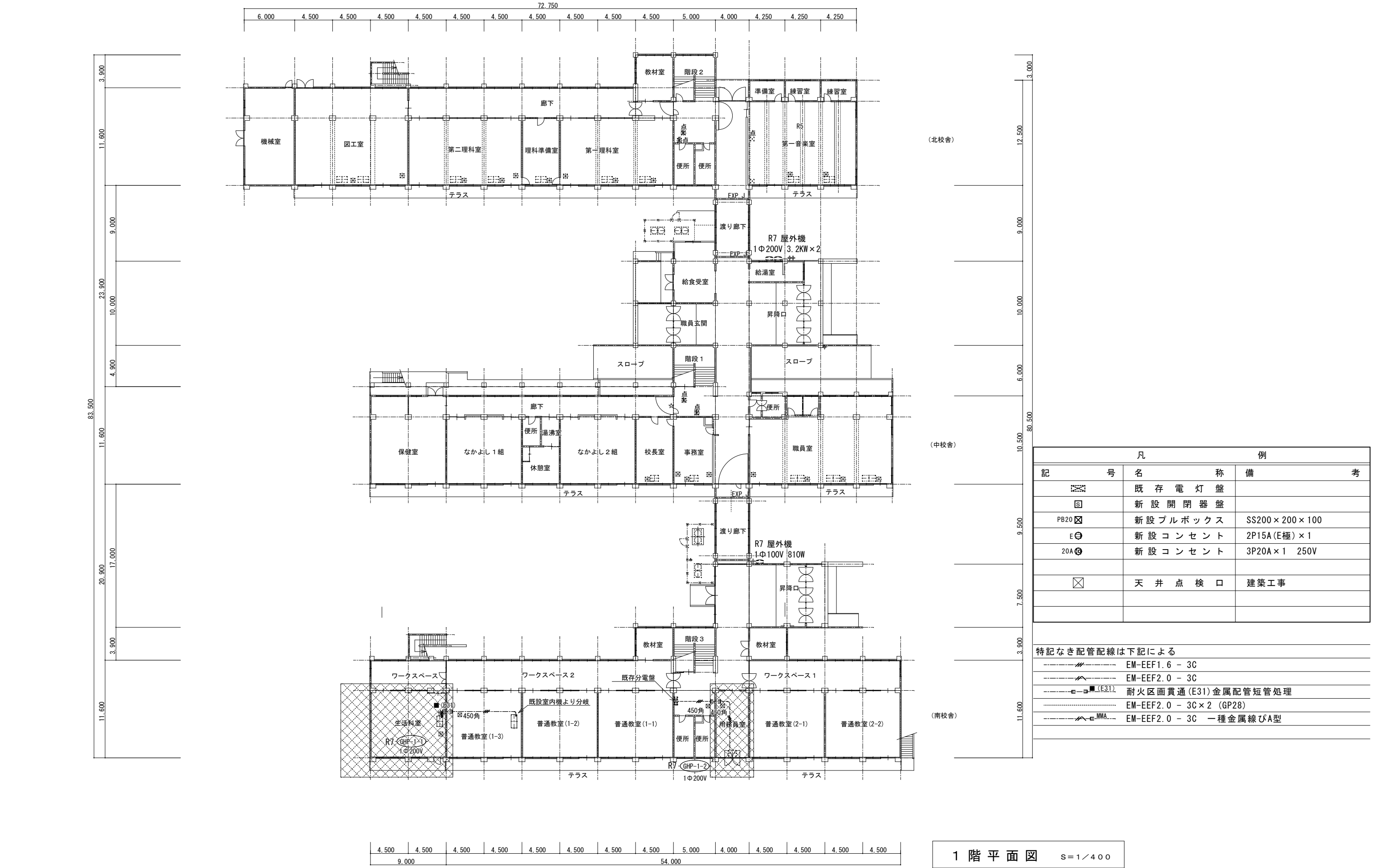
南校舎 西立面図 S=1/300

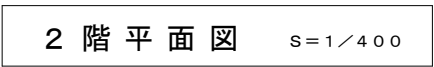
南校舎 南立面図 S=1/300

電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書									
● 印を適用する									
学 校 名		佐久市立野沢小学校							
工 事 場 所		長野県佐久市取出町472番地3							
建 物 概 要		構 造	鉄筋コンクリート造						
		階 数	3階建て						
		敷地面積	23,499.00 m ²						
		建築面積	3,764.06 m ²						
		床 面 積	8,376.35 m ²						
工 事 項 目		○ 仮設工事	○ 電話設備	○ 警報設備					
		○ 受変電設備	○ 放送設備	○ 弱電設備					
		○ 幹線設備	○ テレビ共聴設備	○ 警備設備					
		○ 動力設備	○ 自動火災報知設備	○ 撤去工事					
		● 電灯コンセント設備	○ 非常灯・誘導灯設備	○ 負担金					
一 般 事 項 及 び 特 記 事 項									
施 工 基 準		● 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版及び公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版による。							
		● 本工事は、「電気設備技術基準」「内線規程」「建築基準法」「消防法」その他関係法規及び監督員の指示による。							
		● 本工事は図示による他、監督員及び関係官公署の指示に従い入念に施工をし引き渡し後に使用可能にする。							
耐 震 施 工		● 図示無き箇所についても、技術上必要な工事については監督員と協議の上、請負業者の負担にて施工する事。							
		○ 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計 施工指針2014年版(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。							
		○ (1)設計用水平地震力 機器の重量〔k g f〕に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。 設計用標準水平地震度							
		設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設			
				重要機器	一般機器	重要機器	一般機器		
		上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0		
			防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5		
			水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0		
		中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6		
			防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0		
			水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6		
		地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4		
			防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6		
			水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6		
		○ (2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。							
提 出 書 類		● 竣工時提出物は、建築工事に準ずるほか監督員指示による。							
工 事 材 料		● 使用材料の製造所、製品及び施工業者は、特記のもの又は同等以上とする。 ただし、同等以上とする場合は監督員の承諾を受ける。							

工 事 仕 様		● 図示無き箇所に於いて、技術上必要と思われる事項については監督員と協議の上、請負業者の負担にて施工する事。	
		● 本工事は上記基準によるほか市財務規則及び工事請負契約の記載事項による。	
		● 本工事の責任保証は、工事竣工引渡し後2年間とし、故意または重大な過失による場合は10年間とする。	
		● 施工計画書を提出し、監督員の承諾を得てから着工する。	
		● 工事中既設の設備を損傷した場合は、監督員の指示に従い現状復旧する。	
		● 製作又は施工上必要な図面・仕様書・見本等は延滞なく作成し、監督員の承諾を受ける。	
		● 本工事に使用する材料は予めメーカーリストを作成し、監督員の承諾を受ける。	
		● 使用材料発注先調書は、使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。	
発 生 材 の 処 理		● 解体撤去後の発生材及び処分材は、責任を持って場外へ搬出して処分する。 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」を遵守し、マニフェストA票、B－2票、D票、E票の写しを提出する。詳細は建築工事に準ずる。	
安 全 対 策		● 安全に対して、十分な対策を講じて万全を期すること。	
電 気 保 安 技 術 者		● 電気事業法に定める自家用電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。	
電 気 工 事 士		● 契約電力500KW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。	
機 材 の 品 質 性 能 証 明		● 使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。	
再使用機器		● 取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督員に報告する。	
あと施工アンカー		○ (1)重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）8章の2節8.2.4及び10節による。	
		● (2)上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。 (引抜き試験を ● 実施する ● 実施しない)	
防火区画等の貫通処理		● 電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通個所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。	
電 線 ケーブル		● (1) EM-EEF は紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「タイガイトン EM-EEF」と表記されたものを使用する。	
		● (2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。	
予 備 配 管		○ 埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本、5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。	
予 備 線		○ 長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。	
金属製電線管の塗装		○ 下記の露出配管は塗装を行う。 ○屋 外 ○屋 内 () ・ 場外搬出処理 ・ 構内の指定場所に敷き均し	
建設発生土の処理			
埋戻し土		○ ・種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	
		○ ・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める	

ケーブル埋設標	○ (1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・鉄製 ・コンクリート製																																
	● (2)低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。																																
ブルボックス	○ (3)配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは2条以上敷設する。																																
	● (1)露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。																																
	● (2)露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。																																
フラッシュプレートプレートの用途表示	● 図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製																																
	● ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。																																
配線器具	○ タンブラスイッチは連用形とする。																																
	○ 壁付けコンセント(2P15A)は原則として連用形とする。ただし、2口の場合は複式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。																																
フロアコンセント	○ ・直付(ビス止め)型上下式(・銅合金製 ・アルミ製)とする																																
	○ ・直付(ビス止め)型垂直上下式(銅合金製)とする																																
機器への接続照度測定	● 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。																																
	○ (1)非常用照明の照度測定は設置後速やかに行い、監督員に報告する。																																
	○ (2)学校施設における室内照度測定(屋内運動場：全個所、多目的ホール：全個所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する																																
盤 類	● (1)分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。																																
	○ (2)端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。																																
グリーン購入の推進	● 工事に使用する機器及び材料(以下「機材」という)は、国等による環境物等の調達に関する法律(グリーン購入法)に定めるところにより、環境負荷を低減できる機材を選択するよう努めること。 調達品目「公共工事」の品目 ・照明制御システム ・変圧器																																
他工事又は他工種との取り合い	○ 工事区分表(令和 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。																																
使用材料																																	
	主として使用する配線工法： ● 厚鋼管 ● 1種金属せんび ● C V T ● V E 管 ● V V - F ● P F 管																																
	主として使用する配線器具： ○ 連用型 ● フルカラー ○ カード付																																
	主として使用するプレート： ● 新金属製 ○ 樹脂製指定色 ○ ステンレス製																																
	主として使用する照明器具： ○ 官電協型 ○ 一般型 F L - 3 2 W、4 0 W以上は高力型で、且つ吊りボルト支持工法																																
機器取付け標準高さ	<table><tr><td></td><td>洋室等</td><td>和室</td><td>その他</td></tr><tr><td>スイッチ</td><td>○ 1200 ● 1300 ○ 1400</td><td>○ 1200</td><td>○ 1300</td></tr><tr><td>コンセント 打合せによる</td><td>○ 150 ● 300 ○ 500</td><td>○ 150</td><td>○ 1300</td></tr><tr><td>床暖房用サーモスタット</td><td>○ 500</td><td>○ 500</td><td>○ 500</td></tr><tr><td>その他サーモスタット</td><td>○ 1400 ○ 1500</td><td>○ 1500</td><td>○ 500</td></tr><tr><td>電話用アウトレット</td><td>○ 150 ○ 300</td><td>○ 150</td><td>○ 1300</td></tr><tr><td>テレビ直列ユニット</td><td>○ 150 ○ 300</td><td>○ 150</td><td>○ 1500</td></tr><tr><td>インターホン子機壁付</td><td>○ 1300 ○ 1400 ○ 1500</td><td>○ 150</td><td>○ 1500</td></tr></table>		洋室等	和室	その他	スイッチ	○ 1200 ● 1300 ○ 1400	○ 1200	○ 1300	コンセント 打合せによる	○ 150 ● 300 ○ 500	○ 150	○ 1300	床暖房用サーモスタット	○ 500	○ 500	○ 500	その他サーモスタット	○ 1400 ○ 1500	○ 1500	○ 500	電話用アウトレット	○ 150 ○ 300	○ 150	○ 1300	テレビ直列ユニット	○ 150 ○ 300	○ 150	○ 1500	インターホン子機壁付	○ 1300 ○ 1400 ○ 1500	○ 150	○ 1500
	洋室等	和室	その他																														
スイッチ	○ 1200 ● 1300 ○ 1400	○ 1200	○ 1300																														
コンセント 打合せによる	○ 150 ● 300 ○ 500	○ 150	○ 1300																														
床暖房用サーモスタット	○ 500	○ 500	○ 500																														
その他サーモスタット	○ 1400 ○ 1500	○ 1500	○ 500																														
電話用アウトレット	○ 150 ○ 300	○ 150	○ 1300																														
テレビ直列ユニット	○ 150 ○ 300	○ 150	○ 1500																														
インターホン子機壁付	○ 1300 ○ 1400 ○ 1500	○ 150	○ 1500																														





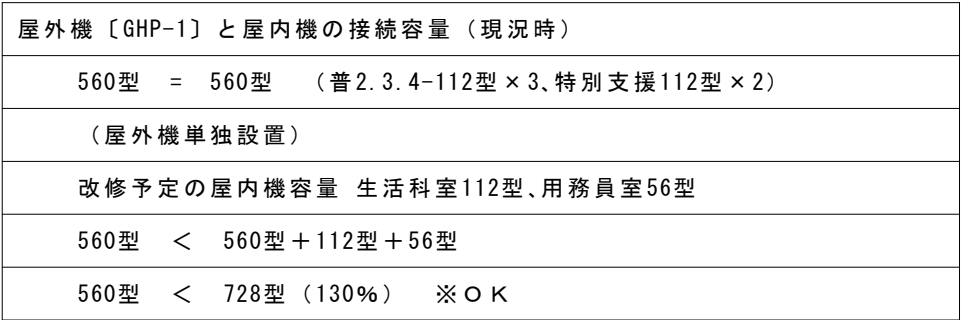
特記なき配管配線は下記による	
	EM-EEF1.6 - 3C
	EM-EEF2.0 - 3C
	耐火区画貫通 (E31) 金属配管短管処理
	EM-EEF2.0 - 3C × 2 (GP28)
	EM-EEF2.0 - 3C 一種金属線びA型

Revision	 一級建築士事務所 設計室 一級建築士事務所 長野県知事登録(佐久)G第 04272号	パオ 〒384-2105 長野県佐久市矢嶋708-2 phone/fax 0267-58-4525	一級建築士 大臣登録 第256088号 小泉 正樹	Check Chief Draw Date '25.06.23 Issue '25.06.23	Title 佐久市立野沢小学校 Sheet Name 電灯設備 2階コンセント設備図 Scale 1/400	Job No. 25-Pr-01 Sheet No. E-03
----------	--	--	---------------------------------	---	---	--



特記なき配管線は下記による	
	EM-EEF1.6 - 3C
	EM-EEF2.0 - 3C
	耐火区画貫通 (E31) 金属配管短管処理
	EM-EEF2.0 - 3C × 2 (GP28)
	EM-EEF2.0 - 3C 一種金属線びA型

Revision	 一級建築士事務所 設計室 パオ 一級建築士事務所 長野県知事登録(佐久)G第 04272 号	一級建築士 大臣登録 第256088号 小泉 正樹	Check	Chief	Draw	Date '25.06.23	Title 佐久市立野沢小学校		Job No. 25-Pr-01
						Issue '25.06.23	Sheet Name 電気設備設備 3階コンセント設備図	Scale 1/400	Sheet No. E-04

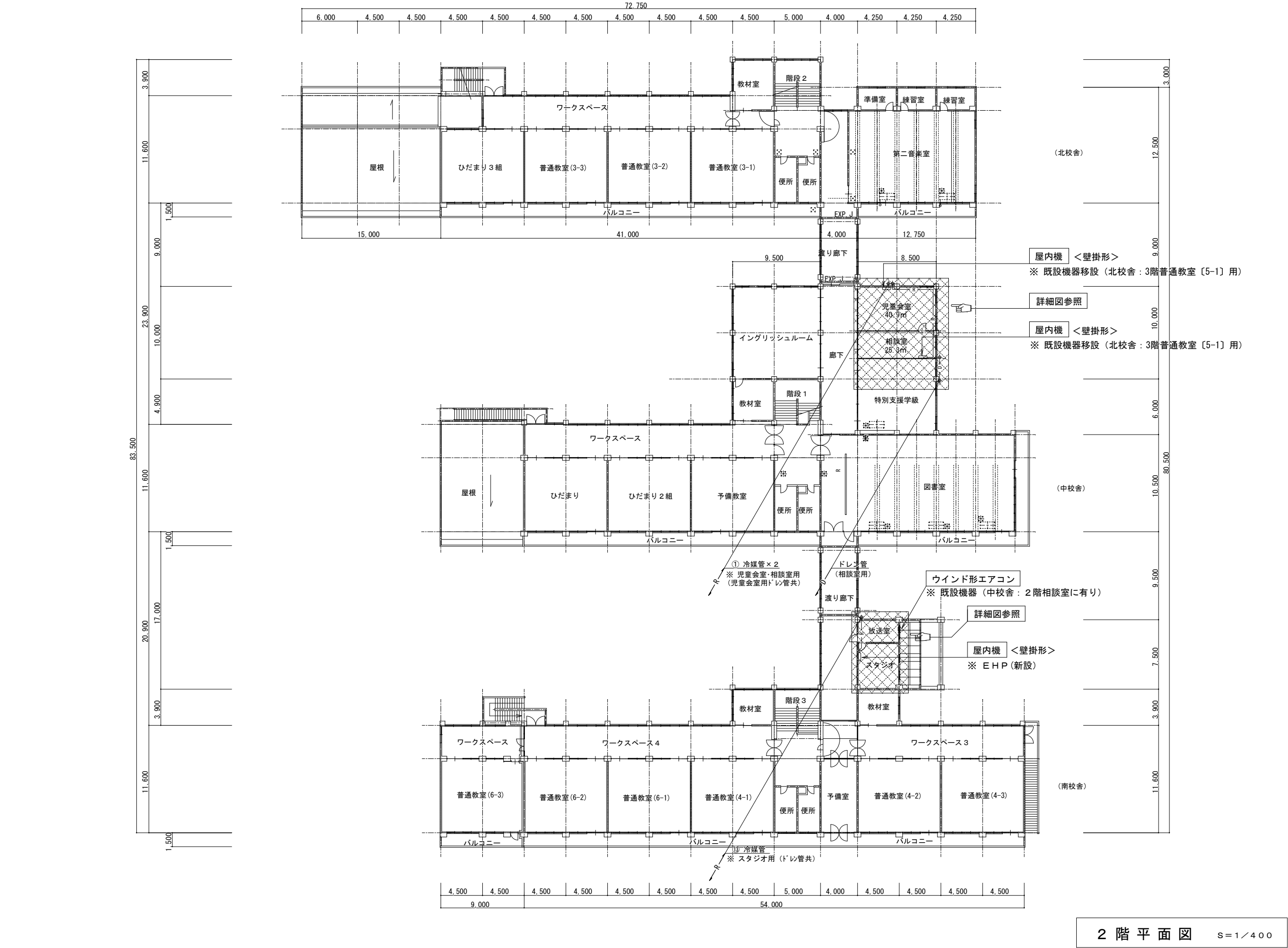


記 号	ガス管	液 管
①	12.7φ	6.35φ
②	15.88φ	9.52φ
③	19.05φ	9.52φ
④	22.20φ	9.52φ
⑤	19.05φ	12.7φ
⑥	22.20φ	12.7φ
⑦	25.40φ	12.7φ
⑧	28.58φ	12.7φ
⑨	28.58φ	15.88φ
⑩	31.75φ	15.88φ
⑪	31.75φ	19.05φ
⑫	38.1φ	19.05φ
⑬	9.52φ	6.35φ
保温厚 (液・ガス)		
10mm/20mm 以上		
 接続分岐管		

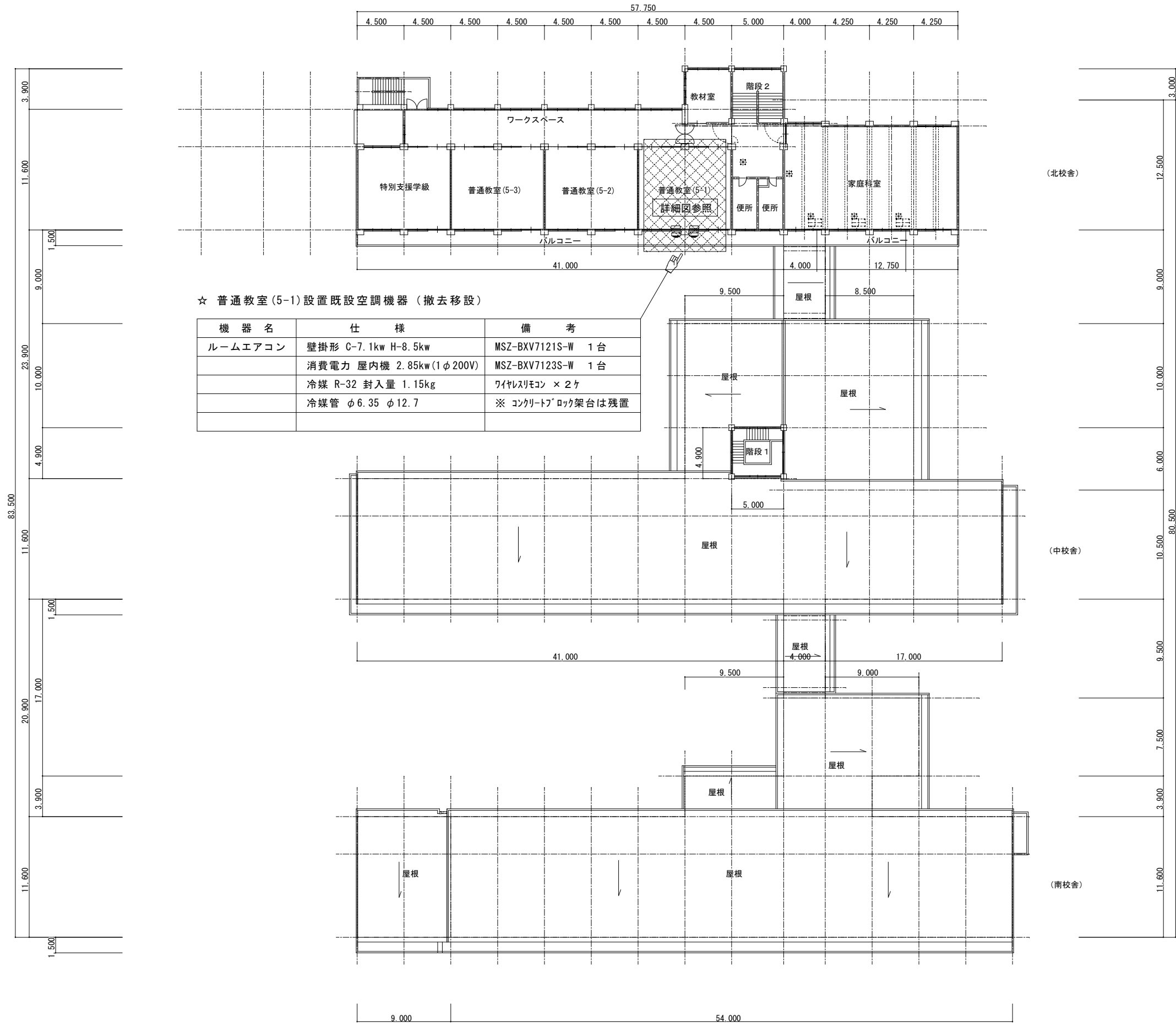
系 統 名 称	液 配 管 径 φ	長さm 液配管合計	係 数	冷 媒 追 加 充 填 量 kg	備 考
野沢小学校 南校舎 1 階 (GHP-1)	22.20 φ	—	0.353	—	
単独設置560型	19.05 φ	—	0.25	—	
<普通教室系統>	15.88 φ	25.60	0.17	4.352	
	12.7 φ	18.0	0.11	1.98	
※ 増設ハルフキットナシ	9.52 φ	57.80	0.054	3.121	実質追加量 (生活科室) 6.8m×0.054 = 0.367
※ 増設ハルフキットナシ	6.35 φ	3.0	0.022	0.066	実質追加量 0.066 (用務員室)
				1.00	αの値1.0kg (単独設置)
				16.00	屋外機出荷時充填量 16.0kg×1 = 16.0kg
			合 計	26.519	
					※実質追加量 0.066+0.367 = 0.43kg

The diagram illustrates the GHP-1 system layout across three school buildings. The North School Building (北校舎) at the top contains classrooms, science labs, and a library. The Middle School Building (中校舎) in the center features a large open-plan area with various rooms and a central staircase. The South School Building (南校舎) at the bottom includes workspaces, labs, and a large hall. The plan is divided into R7 degree zones, and the GHP-1 system is highlighted in a specific area. A legend on the left identifies the GHP-1 system area and the R7 degree zone.

1 階全体図



Revision	一級建築士事務所 設計室 一級建築士事務所 長野県知事登録(佐久)F 第 54272 号 パオ 〒384-2105 長野県佐久市矢嶋708-2 phone/fax 0267-58-4525	Check	Chief	Draw	Date ' 25.06.23	Title 佐久市立野沢小学校		Job No. 25-Pr-01
					Issue ' 25.06.23	Sheet Name 冷暖房設備 2階冷暖房設備図	Scale 1/400	Sheet No. M-05



3 階 平 面 図 S=1/400

※ 南校舎 1 階系統 (GHP-1) の冷媒配管施工に当り、既設冷媒回収～真空引きを行い配管完了後に全冷媒量 26.5kg の充填 (追加冷媒 0.43kg 含む) を適正に行う

南校舎 1 階用務員室詳細図 S=1/100

☆ 配管凡例

記 号	配 管 名 称	備 考
— R —	冷媒用被覆銅管	保温 (10t~20t) ※ 冷媒継手は火無し継手を使用の事
— D —	ドレン管	屋内 硬質ポリ塩化ビニル管 (保温付ドレンパイプ)
	〃	屋外 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 露出部はカーバイド
---- R ----	冷媒用被覆銅管	既設管

☆ 配線凡例

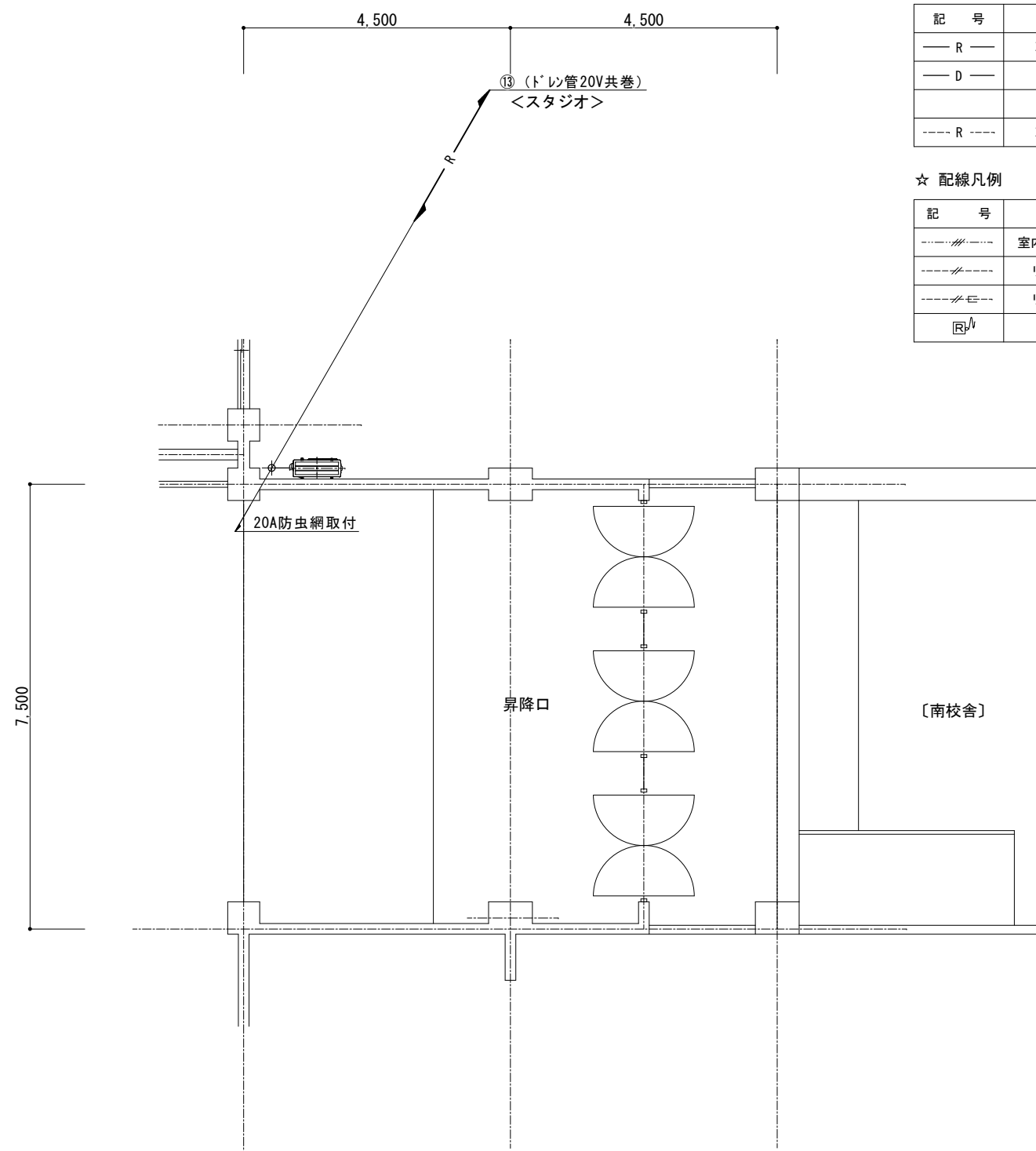
記 号	配 線 名 称	配線サイズ	備 考
-----//-----	室内外操作連絡配線	EM-CEE 2.0□-3C	冷媒配管共巻
-----//-----	リモコン操作線	EM-CEES1.25□-2C	天井内(コダツ)
-----//E-----	リモコン操作線	EM-CEES1.25□-2C	立下げ露出 一種金属線びA型
	個別リモコン		露出 2 個用スイッチボックスA型取付

☆ 外装材仕様

記 号	配 管 名 称	備 考
—— R ——	冷媒用被覆銅管	屋外露出 ステンレス鋼板
		屋内露出 カラー亜鉛鉄板

冷媒管仕様

記 号	ガス管	液 管
①	12. 7φ	6. 35φ
②	15. 88φ	9. 52φ
③	19. 05φ	9. 52φ
④	22. 20φ	9. 52φ
⑤	19. 05φ	12. 7φ
⑥	22. 20φ	12. 7φ
⑦	25. 40φ	12. 7φ
⑧	28. 58φ	12. 7φ
⑨	28. 58φ	15. 88φ
⑩	31. 75φ	15. 88φ
⑪	31. 75φ	19. 05φ
⑫	38. 1φ	19. 05φ
⑬	9. 52φ	6. 35φ
保温厚（液・ガス）		
10mm/20mm 以上		
 接続分岐管		



☆ 配管凡例

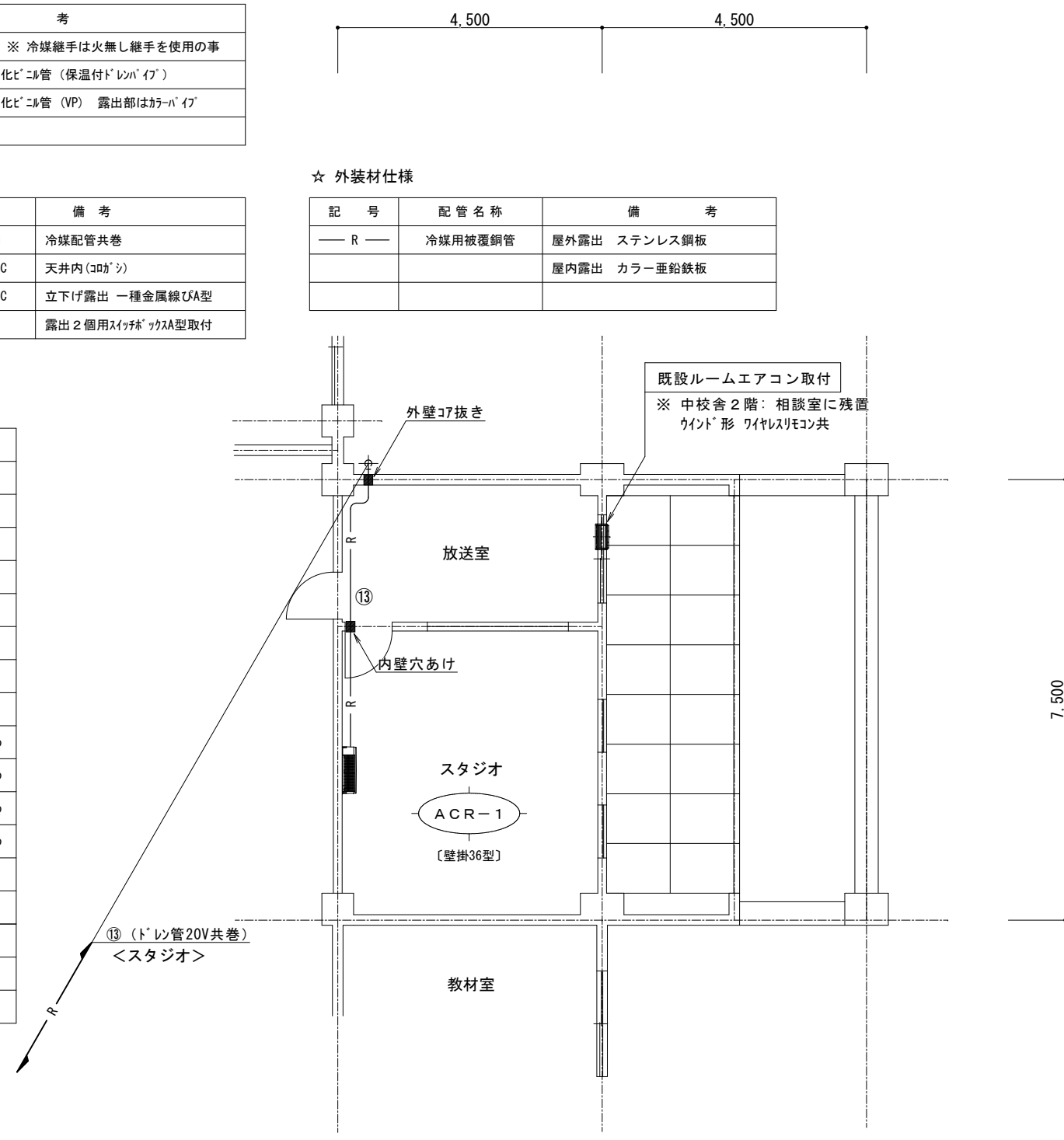
記 号	配 管 名 称	備 考
— R —	冷媒用被覆銅管	保温 (10t~20t) ※ 冷媒継手は火無し継手を使用の事
— D —	ドレン管	屋 内 硬質ポリ塩化ビニル管 (保温付ドレンパイプ)
	〃	屋 外 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 露出部はガラパイプ
--- R ---	冷媒用被覆銅管	既設管

☆ 配線凡例

記 号	配 線 名 称	配線サイズ	備 考
	室内外操作連絡配線	EM-CEE 2.0□-3C	冷媒配管共巻
	リモコン操作線	EM-CEES1.25□-2C	天井内(コガシ)
	リモコン操作線	EM-CEES1.25□-2C	立下げ露出 一種金属線6A型
	個別リモコン		露出2個用スイッチ付6A型取付

冷媒管仕様

記 号	ガス管	液 管
①	12.7φ	6.35φ
②	15.88φ	9.52φ
③	19.05φ	9.52φ
④	22.20φ	9.52φ
⑤	19.05φ	12.7φ
⑥	22.20φ	12.7φ
⑦	25.40φ	12.7φ
⑧	28.58φ	12.7φ
⑨	28.58φ	15.88φ
⑩	31.75φ	15.88φ
⑪	31.75φ	19.05φ
⑫	38.1φ	19.05φ
⑬	9.52φ	6.35φ
保温厚 (液・ガス)		
10mm/20mm 以上		
 接続分岐管		



☆ 外装材仕様

記 号	配 管 名 称	備 考
—— R ——	冷媒用被覆銅管	屋外露出 ステンレス銅板
		屋内露出 カラー亜鉛鉄板

令和6年度（繰越）佐久市立野沢小学校ほか1校 空調設備設置工事 佐久市立野沢中学校

図面リスト

図面番号	図 面 名	縮 尺	図面番号	図 面 名	縮 尺	図面番号	図 面 名	縮 尺
A-01	建築工事特記仕様書(1)	noscale	E-01	電気設備工事特記仕様書	noscale	M-01	機械設備工事特記仕様書	noscale
A-02	建築工事特記仕様書(2)	noscale	E-02	電灯設備 1階コンセント設備図	1/400	M-02	冷暖房機器表	noscale
A-03	建築工事特記仕様書(3)	noscale	E-03	電灯設備 2階コンセント設備図	1/400	M-03	南校舎1階既設GHP配管系統図	noscale
A-04	建築工事特記仕様書(4)	noscale	E-04	電灯設備 3階コンセント設備図	1/400	M-04	南校舎2階既設GHP配管系統図	noscale
A-05	案内図・配置図	noscale 1/400				M-05	南校舎3階既設GHP配管系統図	noscale
A-06	設計概要表・仕上表(1)	noscale				M-06	南校舎東側2階既設GHP配管系統図	noscale
A-07	仕上表(2)	noscale				M-07	北校舎1階既設GHP配管系統図	noscale
A-08	1階平面図	1/400				M-08	1階冷暖房設備図	1/400
A-09	2階平面図	1/400				M-09	2階冷暖房設備図	1/400
A-10	3階平面図	1/400				M-10	3階冷暖房設備図	1/400
A-11	建具表	1/60				M-11	南校舎1～3階学年会室、3階生徒会室詳細図	1/100
A-12	1階仮設計画平面図（参考図）	1/400				M-12	南校舎3階多目的室詳細図	1/100
A-13	2階仮設計画平面図（参考図）	1/400				M-13	北校舎1階会議室、放送室、スタジオ詳細図	1/100
A-14	3階仮設計画平面図（参考図）	1/400						
A-15	仮設計画立面図（参考図）	1/300						

特記仕様書		1		※ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合 該当する建築材料 1) J I S 及び J A S の F ☆☆☆品 2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3) 次の表示のある J A S 適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用		1		※ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 (1.6.9) (1.5.9) ・アクティブ法 ・パッシブ法 検査方法は「学校環境衛生基準」による。 測定対象物質 ※ホルムアルデヒド (濃度指針値 100 μg/m3 ・0.08ppm) ※ホルムアルデヒド (濃度指針値 220 μg/m3 ・0.05ppm) ※ホルムアルデヒド (濃度指針値 260 μg/m3 ・0.07ppm) ※ホルムアルデヒド (濃度指針値 3,800 μg/m3 ・0.88ppm) ※ホルムアルデヒド (濃度指針値 200 μg/m3 ・0.05ppm) ※ホルムアルデヒド (濃度指針値 240 μg/m3 ・0.04ppm) 測定する室等： () 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を提出する。 ・測定結果 ・試料採取時の状況 (気温・湿度 (室外・室内))、天候、風の状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、工事完成時から測定日までの日数) ・試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。 「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。		1		※図示 ○ 現状平均地盤高		12 設計 G L	
I 工事概要		1 学校名 佐久市立野沢中学校 2 工事場所 長野県佐久市野沢335番地1 3 用途地域等 都市計画区域 (内 ・ 外) 用途地域 (第1種中高層住居専用地域・第1種住居地域) 防火地域等 (・ 防火 ・ 準防火 ○ 指定なし ・ 2.2条) その他の地域・地区 () 4 主要用途 中学校 敷地面積 35,688.00 m ² 5 工事概要 ※詳細は各図並びに仕上表改修内容参照 6 1) 空調設備設置工事 令和7年度工事 特別教室棟1F:会議室、用務員室、相談室、放送室、スタジオ 特別教室棟2F:相談室 普通教室棟1F:1学年室 普通教室棟2F:2学年室 普通教室棟3F:多目的室、3学年室、生徒会室 2) 上記空調設備設置工事に関わる付帯電気設備工事 3) 上記空調設備設置工事に関わる付帯建築工事 天井内空調室内機用吊金物の設置 (機械設備工事) 及び左記工事に伴う天井材の撤去・復旧 設備配管等によるアスベスト含有仕上材への穴明け 空調室内機各箇所及び同配線工事に伴う天井点検口 (450角) の設置 7 別途工事 8 その他 9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。 ・構造特記仕様書 ・外構工事特記仕様書 ・植栽工事特記仕様書 ・解体工事特記仕様書 ○ 電気設備工事特記仕様書 ○ 機械設備工事特記仕様書		一般		9. 室内の空気中の化学物質濃度の測定		10 特別な材料の工法		11. 建築基準法による風圧力等の指定					
II 建築工事仕様		1. 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書 (令和7年版) 」 (以下、「改修標準仕様書」という。) による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書 (令和7年版) 」 (以下「標準仕様書」という。) 及び「建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版) 」 (以下「解体共通仕様書」という。) による。 なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。 2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の < >、 () 及び [] 内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		一般		12 設計 G L		13. 施工調査		14 技 能 士					
章 項 目		特 記 事 項		1		1		1		1					
① 一般事項		○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ○ 施工体系図を現場に掲示すること。 ○ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況 (地盤、擁壁、内外壁、床、建具等) を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示 ・ ○ 建築改修工事監理指針 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ○ 建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版) ○ 工事写真の撮り方改訂第3版 (建築編) (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)		1		1		1		1		1			
② 適用基準等		○ 建築改修工事監理指針 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ○ 建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版) ○ 工事写真の撮り方改訂第3版 (建築編) (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)		1		1		1		1					
3. 概成工期		工事工期より 日前 (1.1.2) ※ 適用する (請負精算額が500万円以上の場合) (1.1.4) 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない		1		1		1		1					
④ 工事実績情報 (CORINS) の登録		※ 適用する (請負精算額が500万円以上の場合) (1.1.4) 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない		1		1		1		1					
⑤ 発生材の処理等		発生材の処理 (1.3.8) ・ 引渡しを要するもの () ・ 場外搬出適切処理 () ○ 現場において再利用を図るもの (既存天井材 (ジプトーン)) ()		1		1		1		1					
PCB (ポリ塩化ビフェニール) 含有機器		・ 有 (数量は図示) [5.4.3] ・ 無		1		1		1		1					
PCB含有シーリング材		・ 有 (施工範囲は図示) [5.4.4] ・ 無		1		1		1		1					
PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。				1		1		1		1					
⑥ 電気保安		○ 適用する ・ 適用しない (1.3.3)		1		1		1		1					
⑦ 事故報告		(1.3.10) 工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。		1		1		1		1					
⑧ 建築材料等		材料の品質等 (1.4.2) ※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料に JIS 又は JAS のマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 環境への配慮 (1.4.1) ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。		1		1		1		1					
Revision		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一級建築士事務所					
設計		一級建築士事務所		一級建築士事務所		一									

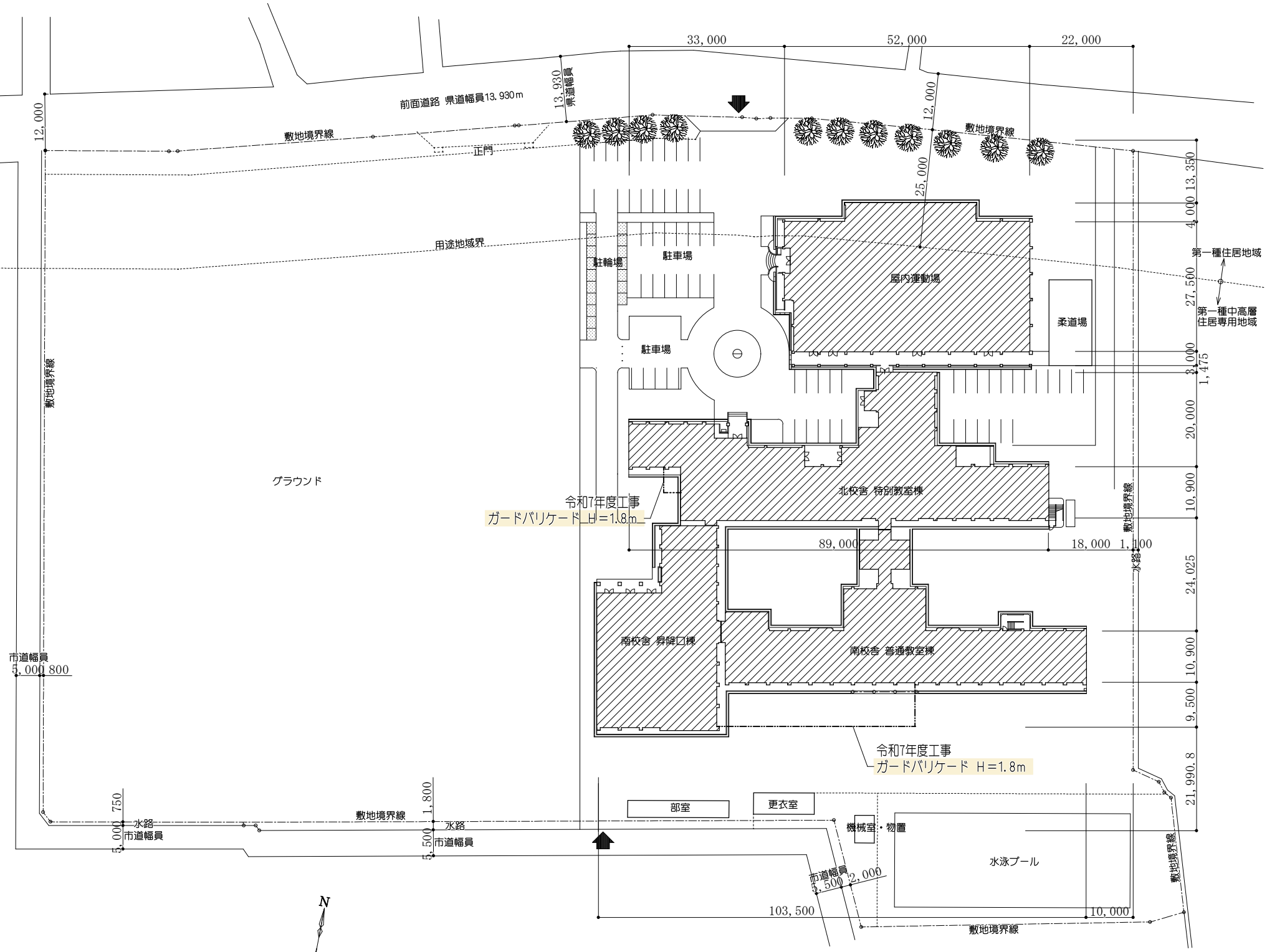
[illegible]

5	14	ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガasket（可動アルミ製建具に限る） 防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。 ガラスの溝幅については、<表5.13.1>による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。 複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。	6	内装改修工事	15	ガラスブロック（中空）	表面形状 (JIS A5212) モジュール呼び寸法 による区分（長さ×高さ） 厚さによる区分 正方形 ・ 125×125 ・ 160×160 ・ 80 長方形 ・ 200×200 ・ 320×320 ・ 95 長方形 ・ 250×125 ・ 320×160 ・ 125 品質等 ガラスの種類 柄 目地色 金 属 枠 耐火性能 ・ 一般ガラス ・ 乳白ガラス ・ カラーガラス ・ 熱線反射ガラス ・ 無 ・ 有 ・ 白 ・ グレー ・ アルミニウム製 (表面処理) ・ ステンレス製 (表面仕上) ・ 規定しない (有 分間)	6	①	改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示の範囲 合成樹脂塗床の除去方法 ・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法 改修後の床の清掃範囲 ・ 当該室全体 ○ 図示の範囲 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 ※ <4.4.9>による（ ） 表面仕上げの程度 ・ A種 ※ B種 ・ C種 含水率 下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種 造作材の材面の品質 ※ A種 ・ B種 代用樹種を使用しない箇所 ※ なし ・ あり（ ） 造作用集材材は<6.5.2(c)(ii)>による 見 付 け 材 面 等 級 ※ 1等 ・ 2等 ※ JAS集材材1等同等 単材の樹種 単材の厚さ(mm) 10～15 10～15	7	床張り用合板	床下貼り用合板 ※ JASの構造用合板 特類 2等以上 C-D以上（ ）	8	防腐・防蟻・防虫処理	薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位（ ） 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 薬剤の加圧注入処理を行ったもの、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。 防虫処理 ラワン材 保存処理性能区分 ※ K1 野縁などの種類 屋内 ※ 19型 ・ 25型（室名： ） 屋外 ・ 19型 ※ 25型 インサート ・ 既存インサートを使用する ・ あと施工アンカーを設ける あと施工アンカーの引抜き試験 ・ 行う ※ 行わない 耐震性を考慮した補強 ※ 行わない ・ 行う（補強方法及補強箇所は図示による） 耐風圧性を考慮した補強（ピロティ、屋外軒天井等） ※ 行わない ・ 行う（補強方法及補強箇所は図示による）	9	軽量鉄骨天井下地材	スタッド、ランナーなどの種類は<表6.7.1>による。 ※ JIS A 6519のJIS表示認証製品	10	軽量鉄骨壁下地材	JIS A5705のJIS表示認証製品 種 類 記 号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工 法 ※ 発泡層のないもの ※ F S ・ T S ※ 無地 ※ 2.0 ・ 帯電防止 ※ 熱溶接 ・ 発泡層のあるもの ・ H S ・ K S ・ マーブル ・ 2.5 ・ 耐動荷重 ・ 突付け	11	体育館の鋼製床下地	JIS A5705のJIS表示認証製品 種 類 記 号 寸 法 厚さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※ K T ※ 300×300 ※ 2.0 ・ 帯電防止 ・ ビニル床タイル ・ ホモジニアス ・ F T ・ 300×300 ・ 2.0 ・ 帯電防止	12	ビニル床シート張り	JIS A5705のJIS表示認証製品 種 類 記 号 寸 法 厚さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※ K T ※ 300×300 ※ 2.0 ・ 帯電防止 ・ ビニル床タイル ・ ホモジニアス ・ F T ・ 450×450 ・ 2.0 ・ 帯電防止	13	ビニル床タイル張り	JIS A5705のJIS表示認証製品 種 類 記 号 寸 法 厚さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※ K T ※ 300×300 ※ 2.0 ・ 帯電防止 ・ ビニル床タイル ・ ホモジニアス ・ F T ・ 450×450 ・ 2.0 ・ 帯電防止	14	タイル・ビニル床シートの特種機能	帯電防止 ・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）1.2～3.1程度 又は耐電圧（JIS L 1023）3kV以下 ・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）3.2～5.1程度 又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）1×10¹⁰オーム未満 ・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）5.2以上 又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）1×10⁷オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験（発泡層のあるビニルシートのみ）およびキャスト性試験等の試験後異常がないこと。	15	視覚障害者用床タイル	材 質 ・ 塩化ビニル系 ・ セツ器質タイル系 寸 法 (mm) 300×300	16	ビニル幅木	材 種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接 高 さ (mm) ・ 60 ※ 75 ・ 100 厚 さ (mm) ・ 1.5 ※ 2.0	17	カーベット敷き	・ タフテッドカーベット 施工箇所 バイル形状 バイル長さ (mm) 工 法 品 質 帯 電 性 ・ 塩化ビニル系 ・ セツ器質タイル系 寸 法 (mm) 300×300	18	合成樹脂塗床	材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜型塗床材
---	----	--	---	--------	----	-------------	---	---	---	------	---	---	--------	--	---	------------	--	---	-----------	---	----	----------	---	----	-----------	--	----	-----------	--	----	-----------	--	----	------------------	---	----	------------	---	----	-------	---	----	---------	--	----	--------	--



工事場所:長野県佐久市野沢335番地1

案内図 noscale



配置図 S=1/1,000

工 事 概 要 表

学 校 名	佐久市立野沢中学校		建 築 主	氏 名	佐久市長 柳田 清二	
建 設 地	長野県佐久市野沢335番地1			住 所	〒385-0051 長野県佐久市中込3056番地 TEL. 0267 - 62 - 2111	
敷 地 面 積	35,688.00 m ² (10,797.76 坪)					
用 途 地 域	第1種中高層住居専用地域・第1種住居地域					
防 火 指 定	無指定地域					
地 域 ・ 地 区						
前 面 道 路	幅 員	13.930 m		敷地に接する長さ		
そ の 他	無 し					
主 要 用 途	中 学 校					
工 事 種 別	改 修 (空調設備)					
構 造	鉄筋コンクリート造3階建て(ラーメン構造)		備 考	準耐火構造 (0-2)		
規 模	建築面積	3F床面積				
		2F床面積				
		1F床面積				
		延床面積				
建 物 高 さ	最高高さ	最高軒高				
建蔽率・容積率	建 蔽 率	容 積 率				

外 部 仕 上 表

部 位	仕 上
屋 根	日本瓦葺 珪砂金ゴテ及び鉄骨小屋組み+ALC版(1/4折×t=50)下地+OPAL-フィング 敷き下地 一部がALC 珪砂鋼板t=0.5段置き定尺工法 珪砂金ゴテ+アスファルト-フィング 敷き下地 体育館+がALC 珪砂鋼板t=0.6折板t=6 葺き
外 壁	コンクリート打放し+弾性リゾ(PSA) 2含有建材(1/4折)吹付 一部がALC珪砂板打放し+撥水材吹付(シリコン系)
開 口 部	カラーアルミ製サッシ(70見込) アルマイト処理シルバー色 スチール製ドア
基 礎	コンクリート打放し仕上
軒 裏	コンクリート打放し+弾性リゾ吹付 昇降口・玄関・唐松板本実板t=12+木材保護塗料塗り
破風・鼻隠板	コンクリート打放し+弾性リゾ吹付
雨 樋	軒樋：押え珪砂金ゴテ+シート防水+遠赤融雪ヒータ 堅樋：WGP 100A+OP
ポ ー チ 犬 走 り	ポーチ：300角加ア-タ体貼り 150角タ体張り(体育館) 犬走り：土間コンクリート金鍍押え
ベ ラ ン ダ	床：防水モルタル金鍍仕上 立上り：コンクリート打放し仕上 柱木：手摺付アルミ既成品

※外壁等仕上材の弾性リゾはPSA 2含有建材(1/4折)3として適切に処理する。

内 部 仕 上 表

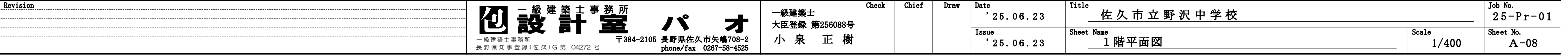
階	室 名	仕上区分	床			巾 木			腰				壁				天 井					備 考	
			床 高	仕 上	ホルムアルデヒド 放 散 種 別	仕 上	塗 装	高 さ	仕 上	塗 装	高 さ	防火認定番号 MMA717 び 放散種別	仕 上	塗 装	防火認定番号 MMA717 び 放散種別	仕 上	塗 装	防火認定番号 MMA717 び 放散種別	廻 縁	天井高			
北校舎	1 階	職 員 室	下 地	±0	コンクリート+モルタル金鍍押え ならぬリゾ+タタキt=16特殊貼り サグ-仕上+無公害塗料塗り	規制対象外	木製巾木	保護塗料	100	RC+木脚縁組 LGS+針葉樹合板t=12捨張り 唐松本実板t=15張り	保護塗料	1900	規制対象外 規制対象外	RC+木脚縁組+針葉樹合板t=12張り LGS+針葉樹合板t=12+12張り PBt=9.5目透し張り	EP	規制対象外 OM-9828 規制対象外	LGS	ジブトーンt=9.5 910×910		規制対象外 OM-0524 規制対象外	木製廻縁	3.010	
		仕上																					
	事 務 室	下 地	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	2.950				
	校 長 室	下 地	↑	↑	↑	↑	↑	↑	RC+木脚縁組 米松桎目板t=15張り	保護塗料	875	規制対象外 規制対象外	RC+木脚縁組+PBt=12.5張り ビニールクロス貼り		規制対象外 NM-8619 規制対象外	LGS+PBt=9.5捨張り 岩綿吸音板t=9(1/4折+タタキ目地無)張り	OM-9828 規制対象外	↑	↑				
		仕上																					
	会 議 室	下 地	↑	↑	↑	↑	↑	↑	RC+木脚縁組 LGS+針葉樹合板t=12捨張り 唐松本実板t=15張り	保護塗料	1900	規制対象外 規制対象外	RC+木脚縁組+針葉樹合板t=12張り LGS+針葉樹合板t=12+12張り PBt=9.5目透し張り	EP	規制対象外 OM-9828 規制対象外	LGS	ジブトーンt=9.5 910×910	OM-0524 規制対象外	↑	↑	空調機取付部天井材(ジブトーンt=9.5 910×910)910×1820程度×1箇所一時撤去+再取付(撤去材再利用) 空調室内機点検・同配線用450角天井点検口×1箇所取付 機械設備工事：空調室内機(天井吊形)×1台新設及び同機器設置用品材の取付		
	用 務 員 室	下 地	+180	RC+木脚縁組+針葉樹合板t=12 畳t=60敷き	規制対象外 規制対象外	畳寄せ								RC+木脚縁組+針葉樹合板t=12.5張り LGS+PBt=12.5張り ビニールクロス貼り		規制対象外 NM-8619 規制対象外	LGS	化粧石膏ボード(杉圭)		規制対象外 OM-0524 規制対象外	↑	2.745	※ウインド形EHP設置済の為本工事対象外
	仕上																						
	相 談 室 1	下 地	±0	コンクリート+モルタル金鍍押え カーペットタイル敷き	規制対象外 規制対象外	木製巾木	保護塗料	100	RC+木脚縁組 LGS+針葉樹合板t=12捨張り 唐松本実板t=15張り	保護塗料	1900	規制対象外 規制対象外	RC+木脚縁組+針葉樹合板t=12張り PBt=9.5目透し張り LGS+50	EP	規制対象外 OM-9828 規制対象外	↑		↑	↑	2.680	※ウインド形EHP設置済の為本工事対象外		
		仕上																					
放 送 室 前	下 地	+450 ±0	木床組+タタキ合板t=12 コンクリート+モルタル金鍍押え カーペットタイル敷き	規制対象外 規制対象外	↑	↑	↑						RC+木脚縁組 有孔しな合板t=9寒冷紗裏打	OP	規制対象外 規制対象外	LGS	有孔しな合板t=9寒冷紗裏打	OP	規制対象外 規制対象外	木製廻縁	2.500 2.950	機械設備工事：空調室内機(壁掛形)×1台新設	
	仕上																						
スタジオ	下 地	±0	コンクリート+モルタル金鍍押え カーペットタイル敷き	規制対象外 規制対象外	↑	↑	↑						↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	2.950	機械設備工事：空調室内機(壁掛形)×1台新設		
	仕上																						
技術科金工室	下 地	↑	コンクリート+モルタル金鍍押え ならぬリゾ+タタキt=16特殊貼り サグ-仕上+無公害塗料塗り	規制対象外 規制対象外	↑	↑	↑	RC+木脚縁組 LGS+針葉樹合板t=12捨張り 唐松本実板t=15張り	保護塗料	1900	規制対象外 規制対象外	RC+木脚縁組+針葉樹合板t=12張り LGS+針葉樹合板t=12+12張り PBt=9.5目透し張り	EP	規制対象外 OM-9828 規制対象外	LGS	ジブトーンt=9.5 910×910		規制対象外 OM-0524 規制対象外	↑	3.010			
	仕上																						
技術科木工室	下 地	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑			
	仕上																						
技術科研究室	下 地	↑	コンクリート+モルタル金鍍押え 長尺塩ビシートt=2.5(7-アル)	規制対象外 規制対象外	↑	↑	↑						RC+外壁部+RC+木脚縁組 LGS+針葉樹合板t=9 モルタル金鍍仕上+しな合板t=9目透し しな合板t=4目透し張り	EP OP	規制対象外 規制対象外	LGS	ジブトーンt=9.5 455×910		規制対象外 OM-0524 規制対象外	↑	2.950		
	仕上																						
南校舎 昇降口棟	1 階	1 学 年 室	下 地	↑	コンクリート金鍍押え+木床組 LGS+針葉樹合板t=12捨張り ならぬリゾ+タタキt=16特殊貼り サグ-仕上+無公害塗料塗り	規制対象外 規制対象外	木製巾木	保護塗料	100	RC+木脚縁組 LGS+針葉樹合板t=12捨張り 米松桎目板t=15張り	保護塗料	960	規制対象外 規制対象外	RC+木脚縁組 LGS+針葉樹合板t=12 しな合板t=9目透し張り しな合板t=6目透し張り	OP	規制対象外 規制対象外	LGS	ジブトーンt=9.5 910×910		規制対象外 OM-0524 規制対象外	木製廻縁 保護塗料	3.010	空調機取付部天井材(ジブトーンt=9.5 910×910)910×1820程度×1箇所一時撤去+再取付(撤去材再利用) 空調室内機点検・同配線用450角天井点検口×2箇所取付 機械設備工事：空調室内機(天井吊形)×1台新設及び同機器設置用品材の取付
		仕上																					
	相 談 室 2	下 地	↑	コンクリート+モルタル金鍍押え カーペットタイル敷き	規制対象外 規制対象外	↑	↑	↑	RC+木脚縁組 LGS+針葉樹合板t=12捨張り 唐松本実板t=15張り	保護塗料	1900	規制対象外 規制対象外	RC+木脚縁組+針葉樹合板t=12張り LGS+針葉樹合板t=12張り PBt=9.5目透し張り	EP	規制対象外 OM-9828 規制対象外	LGS	ジブトーンt=9.5 455×910		規制対象外 OM-0524 規制対象外	↑	↑	※ウインド形EHP設置済の為本工事対象外	
		仕上																					
		下 地																					
		仕上																					

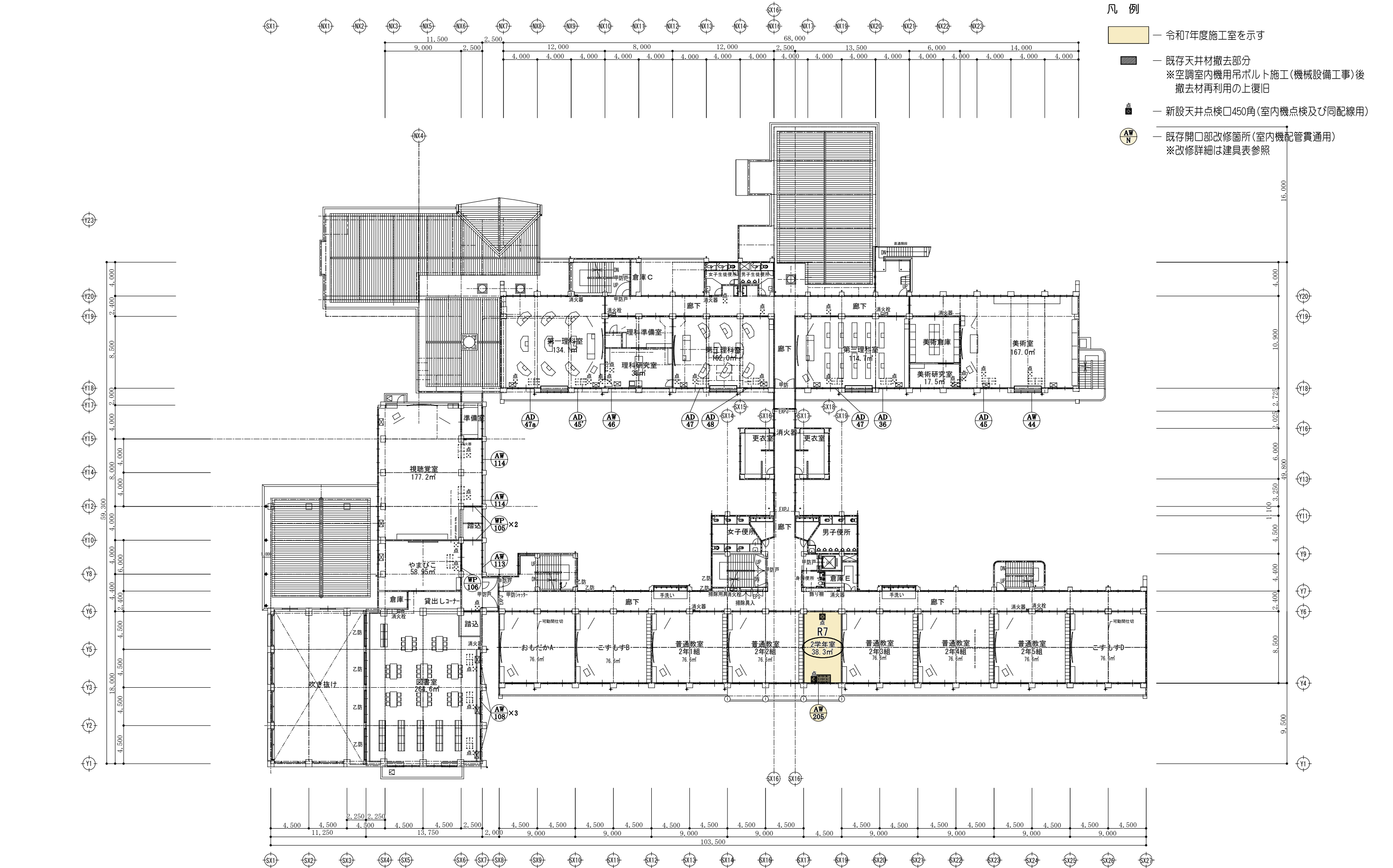
凡 例 材 料			塗装材料			防火認定番号			建具記号			硝 子			※当該作業により天井等仕上材を撤去し新たな材料を用いて復旧する際は現行の同等品を使用する。 ※空調室内機点検用及び電気配線用点検口設置位置及び数量は監督員と要打合せの事。		
LGS	軽鉄骨下地	F B フラットバー	O P	合成樹脂調合ペイント	OSV オイルステインワニス	耐 火	—	FP(—)	W D	木製ドア	SM5H 防煙シャッター	F	換 気	F L	フロート板硝子	凡 例 表内ハッチングは工事該当室を示す	
ALC	気泡コンクリートパネル	R C 鉄筋コンクリート	E P	酢酸ビニール樹脂系エマルジョンペイント	Z C 多彩模様塗料	準 耐 火	—	QF(—)	S D	スチールドア	S H シャッター	F	D	F	型板硝子		
C B	コンクリートブロック	CPL チェッカープレート	AEP	アクリル樹脂系エマルジョンペイント		不 燃	—	NM(—)	A D	アルミドア	W W 木製窓	W	W	P W	網入磨平板硝子		
T B	テラソブロック		V P	塩化ビニル樹脂エナメル		準 不 燃	—	QM(—)	SSD	ステンレスドア	S W スチール窓	S	W	F W	網入型板硝子		
P B	プラスチックボード		O S	オイルステイン		難 燃	—	RM(—)	TGD	強化ガラスドア	A W アルミ窓	A	W	T G	強化硝子		
R B	ラスボード		F P	フタル酸樹脂エナメル			—		OSD	オーバースライダー	A G アルミガラリ	A	G				
SUS	ステンレス		C L	クリヤラッカー			—		FSD	防火扉	S R スクリーン及吸製間仕切	S	R				
A L	アルミ		U C	一液ウレタンワニス			—		FSH	防火シャッター	T B トイレブース	T	B				

Revision	一級建築士事務所 設計室 パオ			Check	Chief	Draw	Date '25.06.23	Title 佐久市立野沢中学校	Job No. 25-Pr-01
	一級建築士事務所 長野県知事登録(佐久)G第 04272号 〒384-2105 長野県佐久市矢嶋708-2 phone/fax 0267-58-4525			Issue '25.06.23				Sheet Name 設計概要表・仕上表(1)	Sheet No. A-06
								Scale noscale	

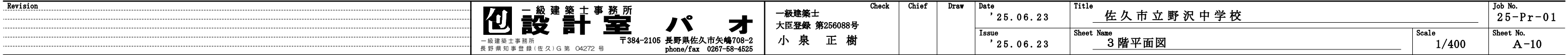
内 部 仕 上 表 ※ 表中ハッチング部分は本改修工事室を示す

階	室 名	仕上区分	床			巾 木			腰				壁				天 井					備 考																	
			床 高	仕 上	ホルムアルデヒド 放 散 種 別	仕 上	塗 装	高 さ	仕 上	塗 装	高 さ	防火認定番号 MMA717 t1 放散種別	仕 上	塗 装	防火認定番号 MMA717 t1 放散種別	仕 上	塗 装	防火認定番号 MMA717 t1 放散種別	廻 縁	天井高																			
北 校 舎	2階	第1理 科 室	下 地	±0	コンクリート+モルタル金鍍押え なら70-リッパD7がt=15特殊貼り カッター仕上+無公害塗料塗り	規制対象外	木製巾木	保護塗料	100	RC+木胴縁組	保護塗料	1900	規制対象外	RC+木胴縁組+針葉樹合板t=12	EP	規制対象外 OM-9828 規制対象外	LGS		規制対象外 OM-0524 規制対象外	木製廻縁 保護塗料	3. 010																		
			仕 上																																				
		第2理 科 室	下 地	↑	↑	↑																	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	仕 上																																						
	第3理 科 室	下 地	↑	↑	↑	↑																	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
		仕 上																																					
理 科 研 究 室	下 地	↑	コンクリート+モルタル金鍍押え 長尺塩ビシートt=2.5(7-ﾌﾟﾛ)	規制対象外	規制対象外	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	RC、外壁部:RC+木胴縁組 LGS+針葉樹合板t=9 モルタル金鍍仕上、しな合板t=9目透し しな合板t=4目透し張り	EP OP	規制対象外 規制対象外	LGS		規制対象外 OM-0524 規制対象外	↑	↑																			
																						仕 上																	
	美 術 室	下 地	↑	コンクリート+モルタル金鍍押え なら70-リッパD7がt=15特殊貼り カッター仕上+無公害塗料塗り	規制対象外	規制対象外	↑	↑	↑	RC+木胴縁組 LGS+針葉樹合板t=12捨張り 唐松本実板t=15張り	保護塗料	1900	規制対象外	RC+木胴縁組+針葉樹合板t=12張り LGS+針葉樹合板t=12+12張り Pbt=9.5目透し張り	EP	規制対象外 OM-9828 規制対象外	LGS		規制対象外 OM-0524 規制対象外	↑	↑																		
		仕 上																																					
美 術 研 究 室	下 地	↑	コンクリート+モルタル金鍍押え 長尺塩ビシートt=2.5(7-ﾌﾟﾛ)	規制対象外	規制対象外	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	RC、外壁部:RC+木胴縁組 LGS+針葉樹合板t=9 モルタル金鍍仕上、しな合板t=9目透し しな合板t=4目透し張り	EP OP	規制対象外 規制対象外	LGS		規制対象外 OM-0524 規制対象外	↑	↑																			
																						仕 上																	
南 校 舎	2階	2 学 年 室	下 地	±0	コンクリート金鍍押え+木床組 +LGS+針葉樹合板t=0.1+針葉樹合板t=15 なら70-リッパD7がt=15特殊貼り カッター仕上+無公害塗料塗り	規制対象外	木製巾木	保護塗料	100	RC+木胴縁組 LGS+針葉樹合板t=12捨張り 米松桎目板t=15張り	保護塗料	960	規制対象外	RC+木胴縁組 LGS+針葉樹合板t=12 しな合板t=9目透し張り しな合板t=6目透し張り	OP	規制対象外	LGS		規制対象外 OM-0524 規制対象外	木製廻縁 保護塗料	3. 010	空調機取付部天井材(G7)トｰﾌﾞt=9.5 910×910)910×1820程度×1箇所一時撤去・再取付(撤去材再利用) 空調室内機点検・同配線用450角天井点検口×2箇所取付 機械設備工事：空調室内機(天井吊形)×1台新設及び同機器設置用吊材M取付																	
昇 降 口 棟	2階	図 書 室	下 地	±0	コンクリート+モルタル金鍍押え カーペットタイル敷き 塩込:長尺塩ビシートt=2.5(7-ﾌﾟﾛ)	規制対象外	木製巾木	保護塗料	100	RC+木胴縁組 LGS+針葉樹合板t=12捨張り 唐松本実板t=15張り	保護塗料	1900	規制対象外	RC+木胴縁組+針葉樹合板t=12	EP	規制対象外 OM-9828 規制対象外	LGS		規制対象外 OM-0524 規制対象外	↑	↑																		
			仕 上																																				
	視 聴 覚 室	下 地	↑	コンクリート+モルタル金鍍押え カーペットタイル敷き	規制対象外	↑	↑	↑	RC+木胴縁組 LGS+針葉樹合板t=12捨張り 唐松本実板t=15張り	保護塗料	1900	規制対象外	RC+木胴縁組+針葉樹合板t=12張り LGS+針葉樹合板t=12+12張り Pbt=9.5目透し張り	EP	規制対象外 OM-9828 規制対象外	LGS+Pbt=9.5捨張り 岩綿吸音板t=9(ﾄﾗﾌﾞﾙ-ﾌﾝ目地無)張り		規制対象外 OM-9828 規制対象外	↑	↑																			
		仕 上																																					
	中 間 教 室	下 地	↑	コンクリート金鍍押え+木床組 +LGS+針葉樹合板t=0.1+針葉樹合板t=15 なら70-リッパD7がt=15特殊貼り カッター仕上+無公害塗料塗り	規制対象外	↑	↑	↑	RC+木胴縁組 LGS+針葉樹合板t=12捨張り 米松桎目板t=15張り	保護塗料	960	規制対象外	RC+木胴縁組 LGS+針葉樹合板t=12 しな合板t=9目透し張り しな合板t=6目透し張り	OP	規制対象外	LGS		規制対象外 OM-0524 規制対象外	↑	↑																			
		仕 上																																					
北 校 舎	3階	家庭科被服室	下 地	±0	コンクリート+モルタル金鍍押え なら70-リッパD7がt=15特殊貼り カッター仕上+無公害塗料塗り	規制対象外	木製巾木	保護塗料	100	RC+木胴縁組	保護塗料	1900	規制対象外	RC+木胴縁組+針葉樹合板t=12	EP	規制対象外 OM-9828 規制対象外	LGS+Pbt=9.5捨張り 岩綿吸音板t=9(ﾄﾗﾌﾞﾙ-ﾌﾝ目地無)張り		規制対象外 OM-9828 規制対象外	木製廻縁 保護塗料	2. 950 ?																		
			仕 上																																				
	家庭科調理室	下 地	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	RC+木胴縁組+針葉樹合板t=12	EP	規制対象外 準不第2015号 規制対象外	LGS+Pbt=9.5捨張り 岩綿吸音板t=9(ﾄﾗﾌﾞﾙ-ﾌﾝ目地無)張り		規制対象外 OM-9828 準不第2026号 規制対象外	木製廻縁 保護塗料	3. 010 ?																		
		仕 上																																					
家庭科研究室	下 地	↑	コンクリート+モルタル金鍍押え 長尺塩ビシートt=2.5(7-ﾌﾟﾛ)	規制対象外	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	RC、外壁部:RC+木胴縁組 LGS+針葉樹合板t=9 モルタル金鍍仕上、しな合板t=9目透し しな合板t=4目透し張り	EP OP	規制対象外 規制対象外	LGS		規制対象外 OM-0524 規制対象外	↑	3. 010																			
	仕 上																																						
音楽科研究室	下 地	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑																		
南 校 舎	3階	3 学 年 室	下 地	±0	コンクリート金鍍押え+木床組 +LGS+針葉樹合板t=0.1+針葉樹合板t=15 なら70-リッパD7がt=15特殊貼り カッター仕上+無公害塗料塗り	規制対象外	木製巾木	保護塗料	100	RC+木胴縁組 LGS+針葉樹合板t=12捨張り 米松桎目板t=15張り	保護塗料	960	規制対象外	RC+木胴縁組 LGS+針葉樹合板t=12 しな合板t=9目透し張り しな合板t=6目透し張り	OP	規制対象外	LGS		規制対象外 OM-0524 規制対象外	木製廻縁 保護塗料	3. 010	空調機取付部天井材(G7)トｰﾌﾞt=9.5 910×910)910×1820程度×1箇所一時撤去・再取付(撤去材再利用) 空調室内機点検・同配線用450角天井点検口×2箇所取付 機械設備工事：空調室内機(天井吊形)×1台新設及び同機器設置用吊材M取付																	
			仕 上																																				
	教 材 室	下 地	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	RC+木胴縁組 唐松本実板t=15張り	EP	規制対象外 OM-9828 規制対象外	LGS		規制対象外 OM-0524 規制対象外	↑	↑	空調機取付部天井材(G7)トｰﾌﾞt=9.5 910×910)910×1820程度×1箇所一時撤去・再取付(撤去材再利用) 空調室内機点検・同配線用450角天井点検口×2箇所取付																	
		仕 上																																					
	生徒会室	下 地	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	空調機取付部天井材(G7)トｰﾌﾞt=9.5 910×910)910×1820程度×1箇所一時撤去・再取付(撤去材再利用) 空調室内機点検・同配線用450角天井点検口×2箇所取付 機械設備工事：空調室内機(天井吊形)×1台新設及び同機器設置用吊材M取付																
		仕 上																																					
屋 内 運 動 場	1階	体 育 研 究 室	下 地	±0	コンクリート+モルタル金鍍押え 長尺塩ビシートt=2.5(7-ﾌﾟﾛ)	規制対象外	木製巾木	EP	100	RC+木胴縁組			RC+木胴縁組	EP	規制対象外	LGS		規制対象外 OM-0524 規制対象外	塩ビ製廻縁	2. 550																			
			仕 上																																				
		下 地																																					
			仕 上																																				
		下 地																																					
			仕 上																																				
		下 地																																					
			仕 上																																				
	下 地																																						
		仕 上																																					





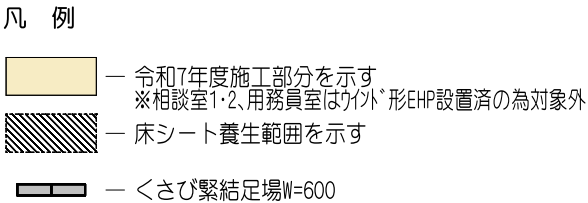
Revision	一級建築士事務所 設計室 一級建築士事務所 長野県知事登録(佐久)G第 04272号 〒384-2105 長野県佐久市矢嶋708-2 phone/fax 0267-58-4525	Check	Chief	Draw	Date	Title		Job No.
					' 25.06.23	佐久市立野沢中学校		25-Pr-01
					Issue	Sheet Name	Scale	Sheet No.
					' 25.06.23	2階平面図	1/400	A-09



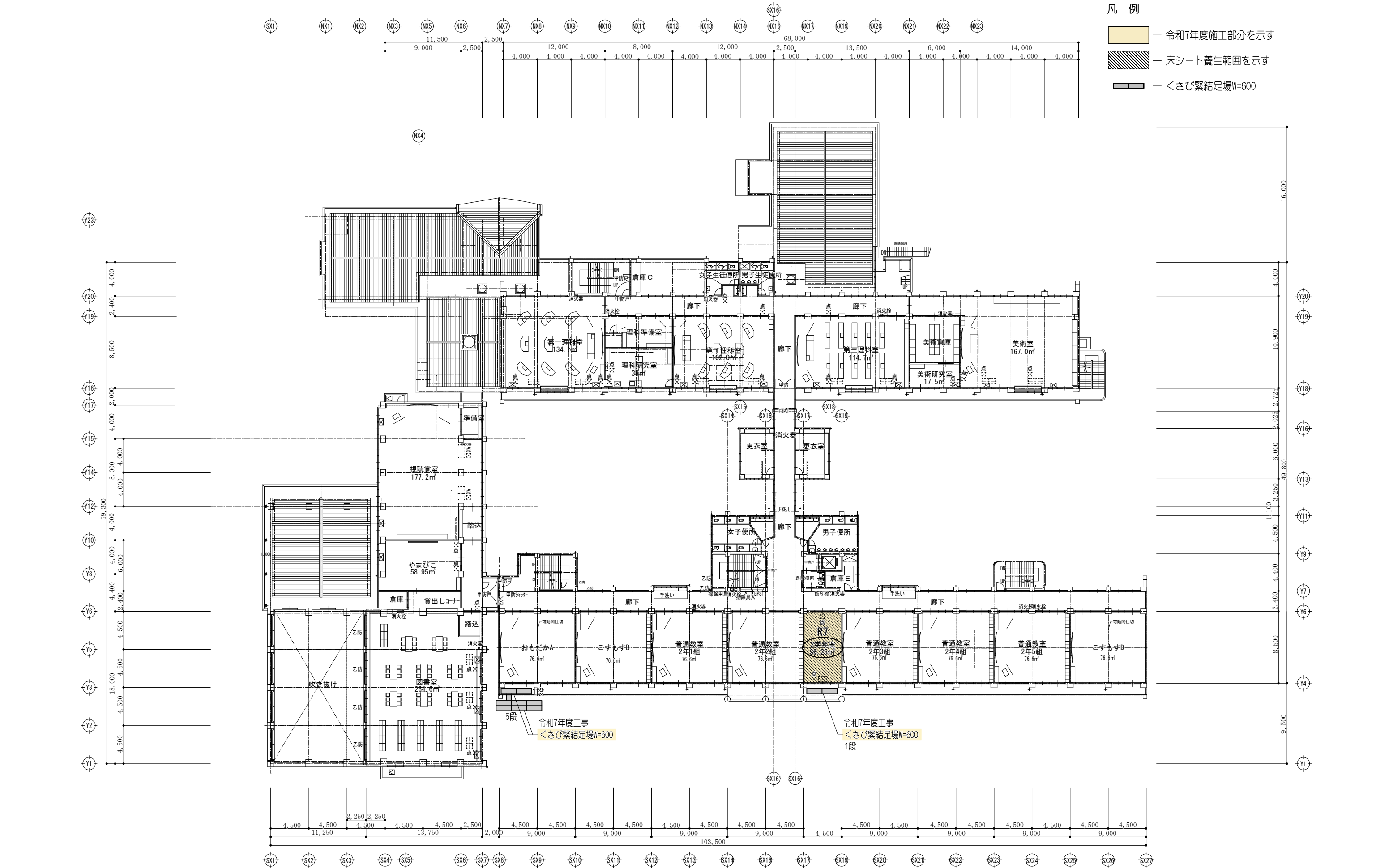
記号・使用場所・数量	AW25b 1 F 北校舎 会議室1	AW205 1、2、3 F 南校舎 1学年室、2学年室、3学年室3	AD220 3 F 南校舎 多目的室B1	AD222 3 F 南校舎 生徒会室1
形 状 ・ 寸 法				
形 式	ALミ引違い段窓2連窓 (ラマ:引違い)	ALミ引違い段窓2連窓 (ラマ:引違い)	ALミ引違い掃出し段窓2連窓 (ラマ:引違い)	ALミ引違い掃出し段窓2連窓 (ラマ:引違い)
見 込	70	70	70	70
材 料	アルミ(電解着色)	アルミ(電解着色)	アルミ(電解着色)	アルミ(電解着色)
硝 子 / 鏡 板	既存 / 改修部:ALミ樹脂複合板 t=3ミルハ^-	既存 / 改修部:ALミ樹脂複合板 t=3ミルハ^-	既存 / 改修部:ALミ樹脂複合板 t=3ミルハ^-	既存 / 改修部:ALミ樹脂複合板 t=3ミルハ^-
附 属 金 物	ルベト 戸車 段窓無目 連窓方立 AL額縁 他付属金物一式 ※ラマ部引戸ストッパ^-新設	ルベト 戸車 段窓無目 連窓方立 AL額縁 他付属金物一式 ※ラマ部引戸ストッパ^-新設	ルベト 戸車 段窓無目 連窓方立 AL額縁 他付属金物一式 ※ラマ部引戸ストッパ^-新設	ルベト 戸車 段窓無目 連窓方立 AL額縁 他付属金物一式 ※ラマ部引戸ストッパ^-新設
記号・使用場所・数量				

形 状 ・ 寸 法	
形 式	
見 込	
材 料	
硝 子 / 鏡 板	
附 属 金 物	

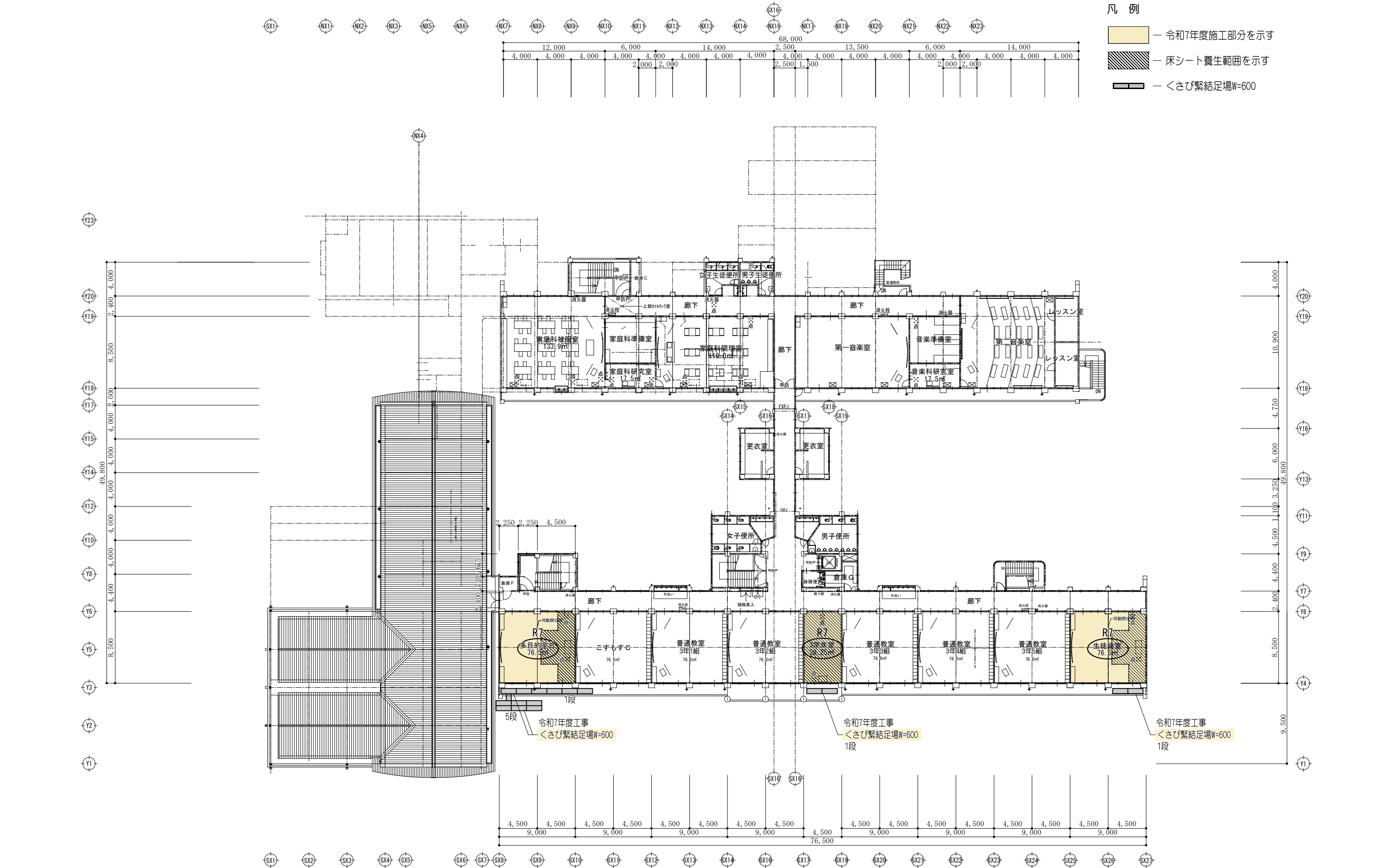
建具記号				硝子	材質・仕上	金物	査榫形状	特記事項		
W D 木製ドア	FSH 防火シャッター	W G 木製ガラリ	S 障子	F L フロート板硝子	SUS ステンレス	U C 一重ウレタンウニス	P H ヒボットヒンジ	※ 図中の寸法は参考寸法とし必ず現場実測の上制作する事		
S D スチールドア	SMSH 防煙シャッター	S G スチールガラリ	S R スクリーン及膜製障仕切	F 型板硝子	A L アルミ	OSV オイルステインウニス	F H フロアヒンジ	※ 既存ガラスをアルミパネルに改修する位置は施工前に空調設備配管を確認の上決定する事		
A D アルミドア	S H シャッター	A G アルミガラリ	S LD スライディングウォール	P W 網入磨半板硝子	F B フラットバー	F P フタル酸樹脂エナメル	L H ライトリレーヒンジ	※ 改修アルミパネル押えはシリコン6×6		
SSD ステンレスドア	W W 木製窓	SSG ステンレスガラリ	S P スチールパーテーション	F W 網入型板硝子	H L ヘアライン		D C ドアチェック			
P D 樹脂製ドア	S W スチール窓	G B 硝子ブロック	A P アルミパーテーション	H FL 熱線吸収フロート板硝子			A S アームストッパー			
TGD 強化ガラスドア	A W アルミ窓	S M 防煙遮隔壁	T B トイレブース	HPW 熱線吸収網入磨半板硝子	O P 合成樹脂調合ペイント					
OSD オーバースライダー	SSW ステンレス窓	F 横		HFW 熱線吸収網入型板硝子	O S オイルステイン					
FSD 防火扉	P W 樹脂製窓	F D 戸横		T G 強化硝子	C L クリヤラッカー					
Revision				一級建築士事務所 設計室 パオ		一級建築士 大臣登録 第256088号 小 泉 正 樹	Check	Chief	Draw	Date ' 25.06.23
				一級建築士事務所 長野県知事登録(佐久)G第 04272号		〒384-2105 長野県佐久市矢嶋708-2 phone/fax 0267-58-4525				Issue ' 25.06.23
										Title 佐久市立野沢中学校
										Sheet Name 建 具 表
										Scale 1/60
										Job No. 25-Pr-01
										Sheet No. A-11



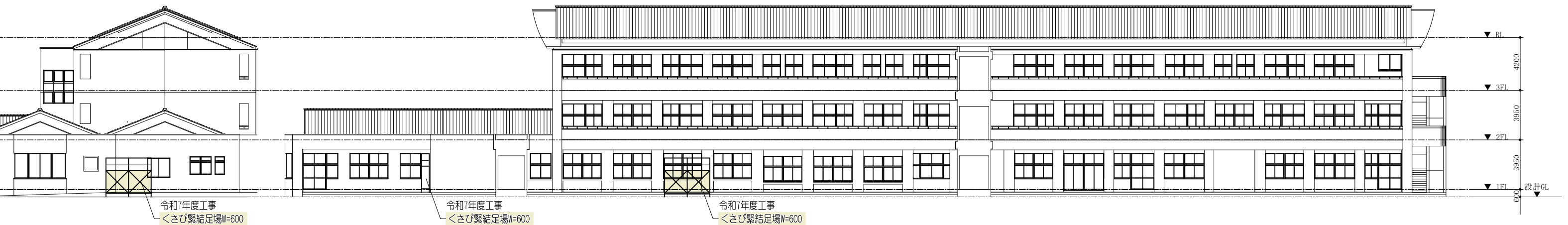
Revision	 一級建築士事務所 設計室 一級建築士事務所 長野県知事登録(佐久)G第 04272号 〒384-2105 長野県佐久市矢嶋708-2 phone/fax 0267-58-4625	一級建築士 大臣登録 第256088号 小泉 正樹	Check	Chief	Draw	Date '25.06.23	Title 佐久市立野沢中学校		Job No. 25-Pr-01
						Issue '25.06.23	Sheet Name 1階仮設計画平面図 (参考図)	Scale 1/400	Sheet No. A-12



Revision	一級建築士事務所 設計室 〒384-2105 長野県佐久市矢嶋708-2 長野県知事登録(佐久)G第 04272号 パオ 小泉 正樹 phone/fax 0267-58-4525	Check	Chief	Draw	Date ' 25.06.23	Title 佐久市立野沢中学校		Job No. 25-Pr-01
					Issue ' 25.06.23	Sheet Name 2 階仮設計画平面図 (参考図)	Scale 1/400	Sheet No. A-13

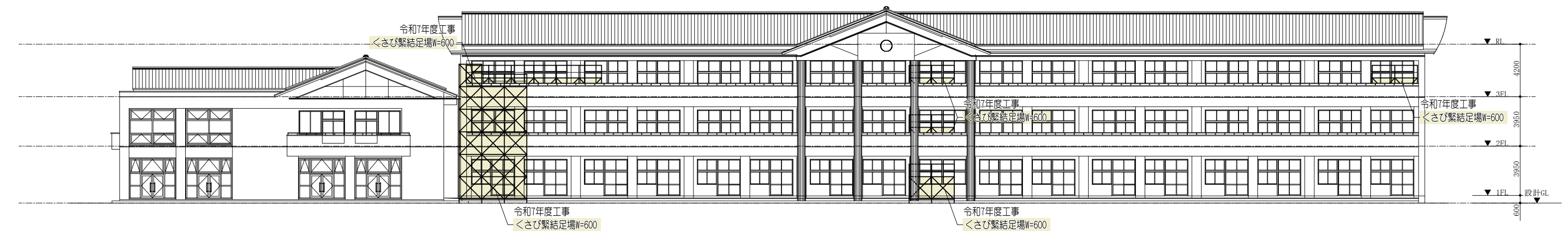


Revision	一級建築士事務所 設計室 一級建築士事務所 長野県知事登録(佐久)G第 04272号 〒384-2105 長野県佐久市矢嶋708-2 phone/fax 0267-58-4525				Check	Chief	Draw	Date	Title		Job No. 25-Pr-01
	' 25.06.23	佐久市立野沢中学校									
	Issue	Sheet Name	Scale	Sheet No.							
				' 25.06.23	3 階仮設計画平面図 (参考図)		1/400	A-14			



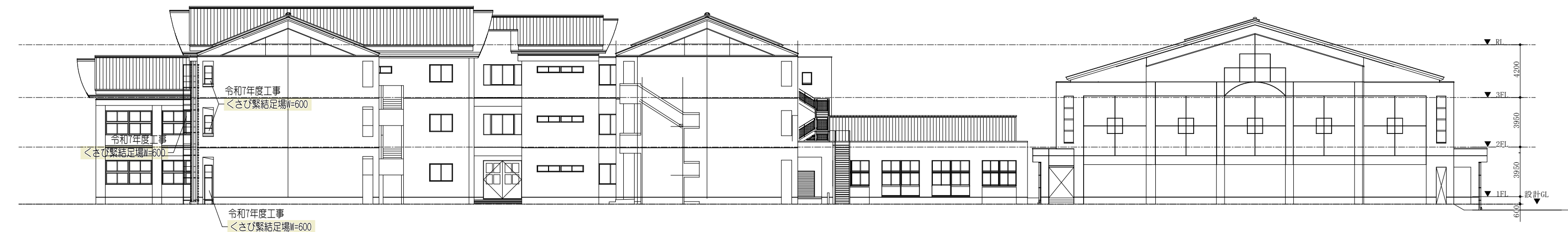
北校舎特別教室棟
西立面図 S=1/300

北校舎特別教室棟
南立面図 S=1/300



南校舎昇降口棟

南校舎普通教室棟
南立面図 S=1/300



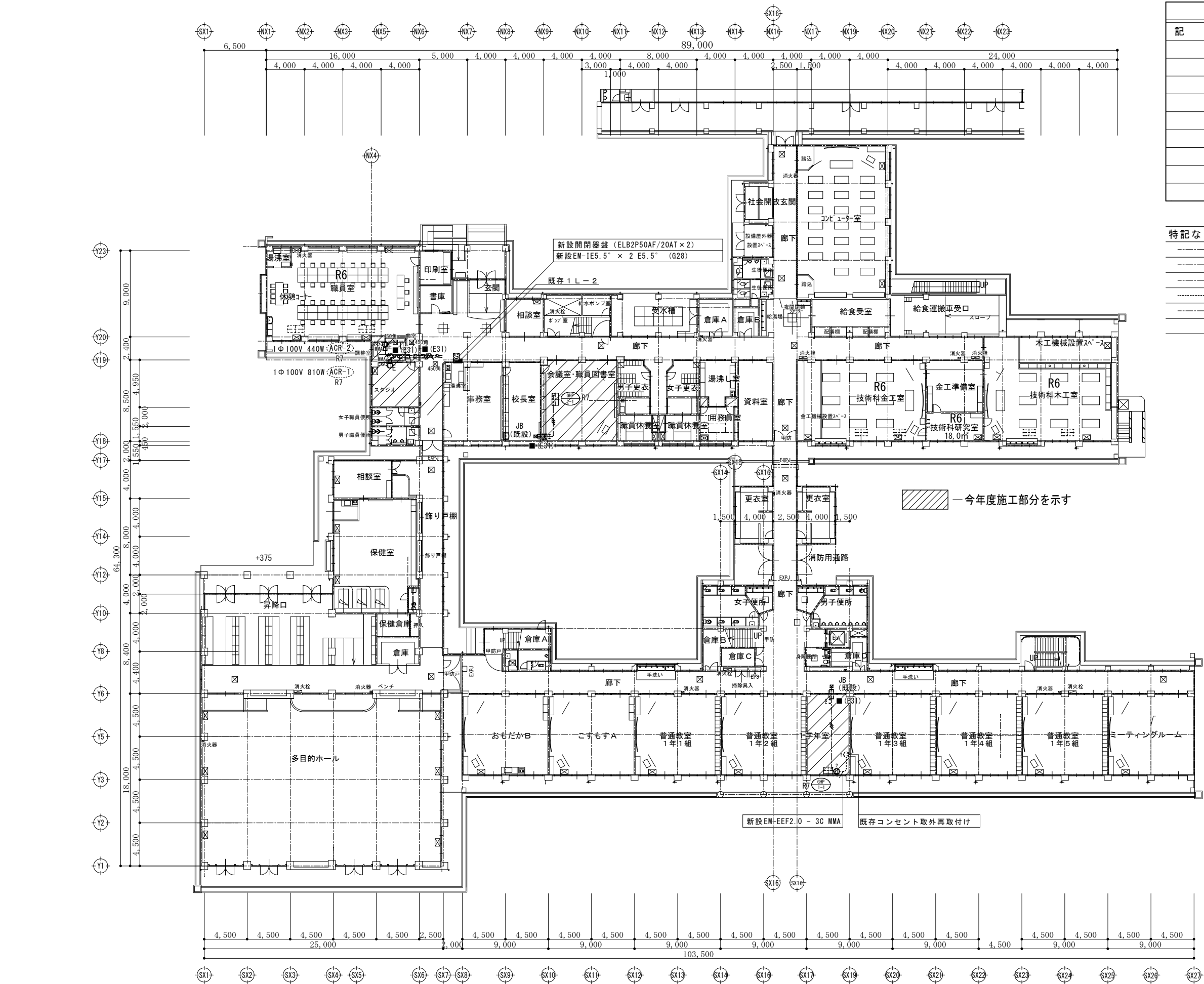
南校舎普通教室棟

北校舎特別教室棟
東立面図 S=1/300

屋内運動場

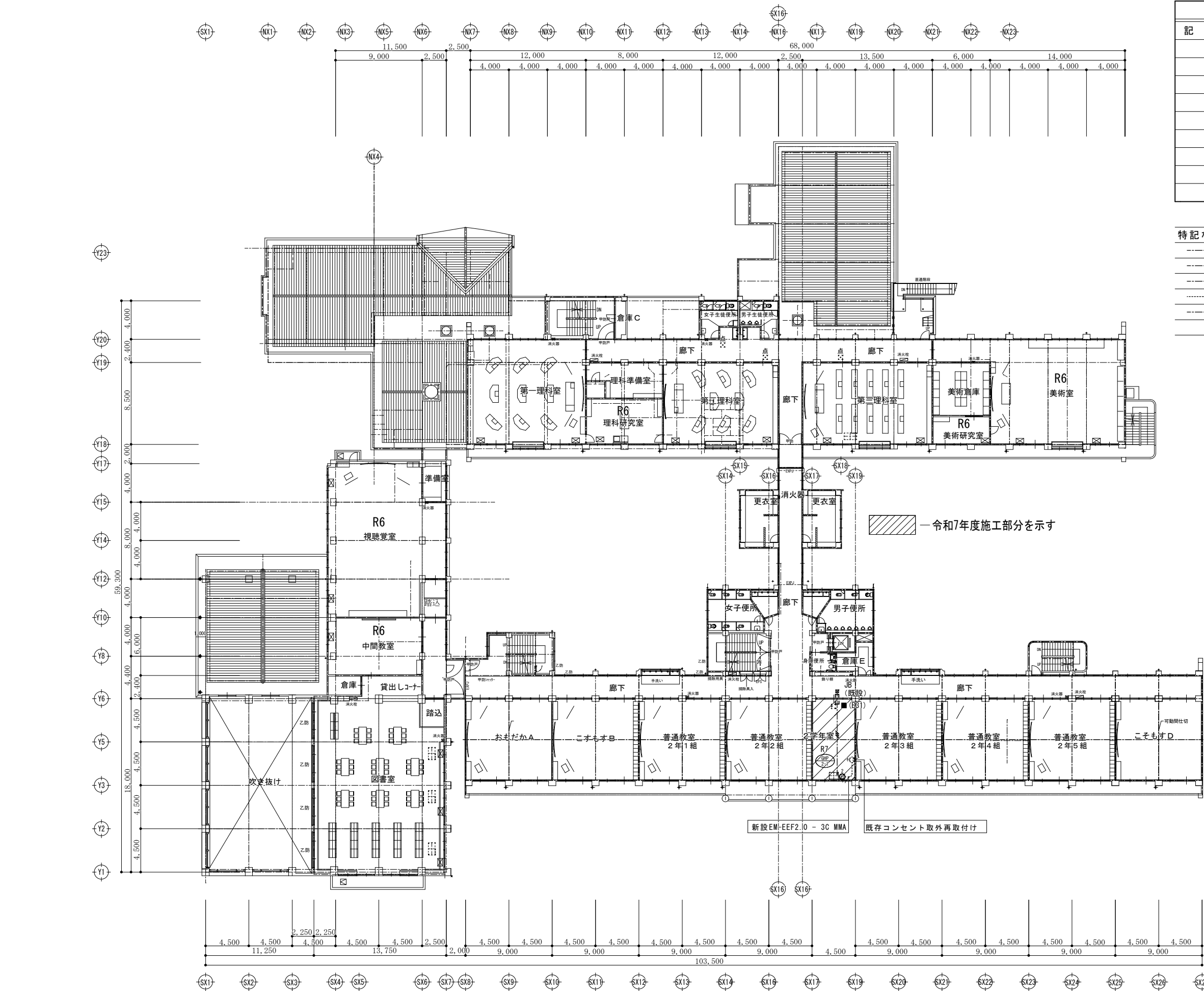
Revision	一級建築士事務所 設計室 一級建築士事務所 長野県知事登録(佐久)G第 04272号 〒384-2105 長野県佐久市矢嶋708-2 phone/fax 0267-58-4525	Check	Chief	Draw	Date ' 25.06.23	Title 佐久市立野沢中学校		Job No. 25-Pr-01
					Issue ' 25.06.23	Sheet Name 仮設計画立面図 (参考図)	Scale 1/300	Sheet No. A-15

電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書			工 事 仕 様		● 印を適用する																																																											
学 校 名		佐久市立野沢中学校																																																														
工 事 場 所		長野県佐久市野沢335番地1																																																														
建 物 概 要		構 造 階 数 敷地面積 建築面積 床 面 積				鉄筋コンクリート造 3階建て 35,688.00 ㎡ ㎡ ㎡																																																										
工 事 項 目		○ 仮設工事 ○ 受変電設備 ○ 幹線設備 ○ 動力設備 ● 電灯コンセント設備				○ 電話設備 ○ 放送設備 ○ テレビ共聴設備 ○ 自動火災報知設備 ○ 非常灯・誘導灯設備	○ 警報設備 ○ 弱電設備 ○ 警備設備 ○ 撤去工事 ○ 負担金																																																									
一 般 事 項 及 び 特 記 事 項																																																																
施 工 基 準		● 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版及び公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版による。 ● 本工事は、「電気設備技術基準」「内線規程」「建築基準法」「消防法」その他関係法規及び監督員の指示による。 ● 本工事は図示による他、監督員及び関係官公署の指示に従い入念に施工をし引き渡し後に使用可能にする。 ● 図示無き箇所についても、技術上必要な工事については監督員と協議の上、請負業者の負担にて施工する事。																																																														
耐 震 施 工		○ 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 ○ (1)設計用水平地震力 機器の重量〔kgf〕に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。 設計用標準水平地震度																																																														
耐 震 施 工		<table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="3">上層階、 屋上及び塔屋</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中間階</td><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地下・1階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table>					設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6	地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設																																																												
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																											
上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																											
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																											
	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0																																																											
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																											
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																											
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																											
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																											
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																											
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																											
提 出 書 類		○ (2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ● 竣工時提出物は、建築工事に準ずるほか監督員指示による。																																																														
工 事 材 料		● 使用材料の製造所、製品及び施工業者は、特記のもの又は同等以上とする。 ただし、同等以上とする場合は監督員の承諾を受ける。																																																														
発 生 材 の 処 理		● 解体撤去後の発生材及び処分材は、責任を持って場外へ搬出して処分する。 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」を遵守し、マニフェストA票、B－2票、D票、E票の写しを提出する。詳細は建築工事に準ずる。																																																														
安 全 対 策		● 安全に対して、十分な対策を講じて万全を期すること。																																																														
電 気 保 安 技 術 者		● 電気事業法に定める自家用電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。																																																														
電 気 工 事 士		● 契約電力500KW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。																																																														
機 材 の 品 質 性 能 証 明		● 使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。																																																														
再使用機器		● 取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督員に報告する。																																																														
あ と 施 工 ア ン カ ー		○ (1)重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）8章の2節8.2.4及び10節による。 ● (2)上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。 （引抜き試験を ● 実施する ・ 実施しない ）																																																														
防 火 区 画 等 の 貫 通 処 理		● 電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通個所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。																																																														
電 線 ケ ー ブ ル		● (1) EM-EEF は紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「タイガイトン EM-EEF」と表記されたものを使用する。 ● (2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。																																																														
予 備 配 管		○ 埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本、5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。																																																														
予 備 線		○ 長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。																																																														
金 属 製 電 線 管 の 塗 装		○ 下記の露出配管は塗装を行う。 ○屋 外 ○屋 内（ ） ・ 場外搬出処理 ・ 構内の指定場所に敷き均し																																																														
建 設 発 生 土 の 処 理		○ ・種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種																																																														
埋 戻 し 土		○ ・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める																																																														
ケ ー ブ ル 埋 設 標		● (1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・鉄製 ・コンクリート製																																																														
ブルボックス		● (2)低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。 ○ (3)配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは2条以上敷設する。																																																														
フラッシュプレートプレートの用途表示		● (1)露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 ● (2)露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。																																																														
配 線 器 具		● 図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 ● ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。 ○ タンブラスイッチは連用形とする。 ○ 壁付けコンセント(2P15A)は原則として連用形とする。ただし、2口の場合は複式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。																																																														
フ ロ ア コンセント		○ ・直付（ビス止め）型上下式（ ・銅合金製 ・アルミ製）とする ○ ・直付（ビス止め）型垂直上下式（銅合金製）とする																																																														
機 器 へ の 接 照 度 測 定		● 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ○ (1)非常用照明の照度測定は設置後速やかに行い、監督員に報告する。 ○ (2)学校施設における室内照度測定(屋内運動場：全個所、多目的ホール：全個所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する																																																														
盤 類		● (1)分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 ○ (2)端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。																																																														
グ リ ー ン 購 入 の 推 進		● 工事に使用する機器及び材料（以下「機材」という）は、国等による環境物等の調達に関する法律（グリーン購入法）に定めるところにより、環境負荷を低減できる機材を選択するよう努めること。 調達品目「公共工事」の品目 ・ 照明制御システム ・ 変圧器																																																														
他工事又は他工種との取り合い		○ 工事区分表(令和 年版)による。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議する。																																																														
使 用 材 料																																																																
機器取付け標準高さ		主として使用する配線工法： ● 厚鋼管 ● 1種金属せんび ● C V T ● V E 管 ● V V - F ● P F 管 主として使用する配線器具： ○ 連用型 ● フルカラー ○ カード付 主として使用するプレート： ● 新金属製 ○ 樹脂製指定色 ○ ステンレス製 主として使用する照明器具： ○ 官電協型 ○ 一般型 F L - 3 2 W、4 0 W以上は高力型で、且つ吊りボルト支持工法																																																														
		<table><tr><th></th><th>洋室等</th><th>和室</th><th>その他</th></tr><tr><td>スイッチ</td><td>○ 1 2 0 0 ● 1 3 0 0 ○ 1 4 0 0</td><td>○ 1 2 0 0</td><td>○ 1 3 0 0</td></tr><tr><td>コンセント 打合せによる</td><td>○ 1 5 0 ● 3 0 0 ○ 5 0 0</td><td>○ 1 5 0</td><td>○ 1 3 0 0</td></tr><tr><td>床暖房用サーモスタット</td><td>○ 5 0 0</td><td>○ 5 0 0</td><td>○ 5 0 0</td></tr><tr><td>その他サーモスタット</td><td>○ 1 4 0 0 ○ 1 5 0 0</td><td>○ 1 5 0 0</td><td>○ 5 0 0</td></tr><tr><td>電話用アウトレット</td><td>○ 1 5 0 ○ 3 0 0</td><td>○ 1 5 0</td><td>○ 1 3 0 0</td></tr><tr><td>テレビ直列ユニット</td><td>○ 1 5 0 ○ 3 0 0</td><td>○ 1 5 0</td><td>○ 1 5 0 0</td></tr><tr><td>インターホン子機壁付</td><td>○ 1 3 0 0 ○ 1 4 0 0 ○ 1 5 0 0</td><td>○ 1 5 0</td><td>○ 1 5 0 0</td></tr></table>						洋室等	和室	その他	スイッチ	○ 1 2 0 0 ● 1 3 0 0 ○ 1 4 0 0	○ 1 2 0 0	○ 1 3 0 0	コンセント 打合せによる	○ 1 5 0 ● 3 0 0 ○ 5 0 0	○ 1 5 0	○ 1 3 0 0	床暖房用サーモスタット	○ 5 0 0	○ 5 0 0	○ 5 0 0	その他サーモスタット	○ 1 4 0 0 ○ 1 5 0 0	○ 1 5 0 0	○ 5 0 0	電話用アウトレット	○ 1 5 0 ○ 3 0 0	○ 1 5 0	○ 1 3 0 0	テレビ直列ユニット	○ 1 5 0 ○ 3 0 0	○ 1 5 0	○ 1 5 0 0	インターホン子機壁付	○ 1 3 0 0 ○ 1 4 0 0 ○ 1 5 0 0	○ 1 5 0	○ 1 5 0 0																										
	洋室等	和室	その他																																																													
スイッチ	○ 1 2 0 0 ● 1 3 0 0 ○ 1 4 0 0	○ 1 2 0 0	○ 1 3 0 0																																																													
コンセント 打合せによる	○ 1 5 0 ● 3 0 0 ○ 5 0 0	○ 1 5 0	○ 1 3 0 0																																																													
床暖房用サーモスタット	○ 5 0 0	○ 5 0 0	○ 5 0 0																																																													
その他サーモスタット	○ 1 4 0 0 ○ 1 5 0 0	○ 1 5 0 0	○ 5 0 0																																																													
電話用アウトレット	○ 1 5 0 ○ 3 0 0	○ 1 5 0	○ 1 3 0 0																																																													
テレビ直列ユニット	○ 1 5 0 ○ 3 0 0	○ 1 5 0	○ 1 5 0 0																																																													
インターホン子機壁付	○ 1 3 0 0 ○ 1 4 0 0 ○ 1 5 0 0	○ 1 5 0	○ 1 5 0 0																																																													



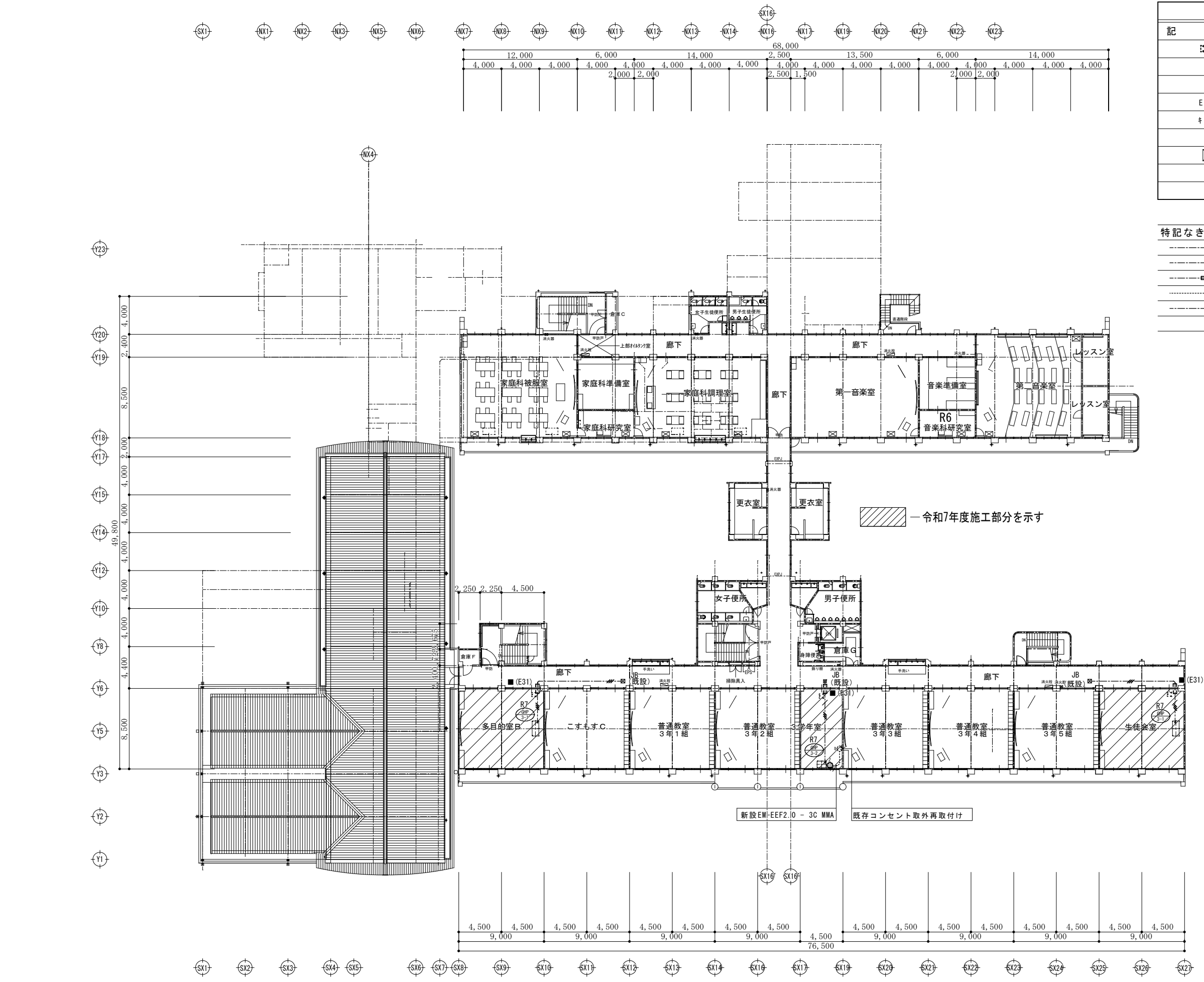
凡		例	
記	号	名	備 考
		既 存 電 灯 盤	
		新 設 開 閉 器 盤	
		既 存 ショイントボックス	
	E ㊦	新 設 コン セ ン ト	2P15A (E極) x 1
	キ ㊦	既 存 コン セ ン ト	2P15A x 2
		天 井 点 検 口	建 築 工 事

特記なき配管配線は下記による	
	EM-EEF1.6 - 3C
	EM-EEF2.0 - 3C
	耐火区画貫通 (E31) 金属配管短管処理
	EM-EEF2.0 - 3C x 2 (GP28)
	EM-EEF2.0 - 3C 一種金属線びA型



凡		例	
記	号	名	備 考
		既 存 電 灯 盤	
		新 設 開 閉 器 盤	
		既 存 ショイントボックス	
		新 設 コンセント	2P15A(E極) × 1
		既 存 コンセント	2P15A × 2
		天 井 点 検 口	建築工事

特記なき配管配線は下記による	
	EM-EEF1.6 - 3C
	EM-EEF2.0 - 3C
	耐火区画貫通 (E31) 金属配管短管処理
	EM-EEF2.0 - 3C × 2 (GP28)
	EM-EEF2.0 - 3C 一種金属線びA型



凡		例	
記	号	名	備 考
		既 存 電 灯 盤	
		新 設 開 閉 器 盤	
		既 存 ショイントボックス	
		新 設 コ ン セ ン ト	2P15A(E極) × 1
		既 存 コ ン セ ン ト	2P15A × 2
		天 井 点 検 口	建築工事

特記なき配管配線は下記による	
	EM-EEF1.6 - 3C
	EM-EEF2.0 - 3C
	耐火区画貫通 (E31) 金属配管短管処理
	EM-EEF2.0 - 3C × 2 (GP28)
	EM-EEF2.0 - 3C 一種金属線びA型

冷暖房機器表

※ 1、空冷式パナソニックエアコンの冷房・暖房能力及び消費電力は、J I S - B - 8 6 1 6 条件にて運転した値とする。

※ 2、ルームエアコンの冷房・暖房能力及び消費電力は、J I S - C - 9 6 1 2 条件にて運転した値とする。

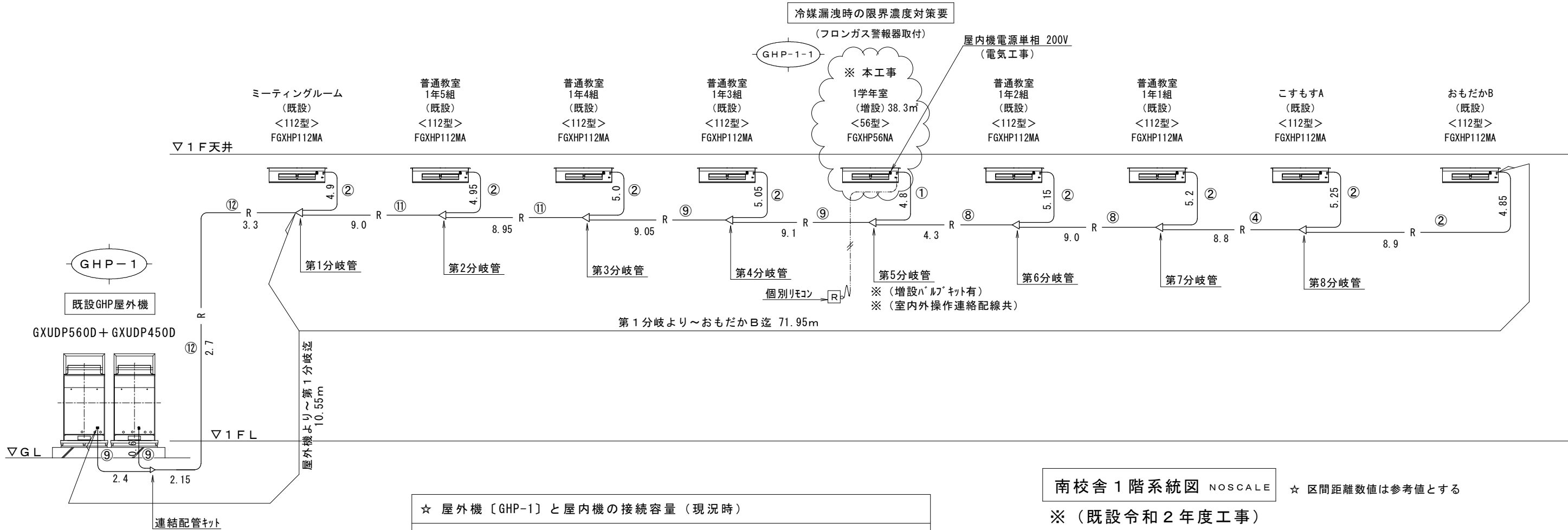
※ 2、ルームエアコンの冷房・暖房能力及び消費電力は、J I S - C - 9 6 1 2 条件にて運転した値とする。

工事名：令和6年度（繰越）佐久市立野沢小学校ほか1校空調設備設置工事
宛先 佐久市長 柳田 清二 様
（野沢中学校）

(野沢中学校)

[illegible]

Revision	 一級建築士事務所 設計室 パオ 〒384-2105 長野県佐久市矢嶋708-2 一級建築士事務所 長野県知事登録(佐久)G第 04272号 phone/fax 0287-58-4525		一級建築士 大臣登録 第256088号 小泉 正樹	Check	Chief	Draw	Date '25.06.23 Issue '25.06.23	Title 佐久市立野沢中学校 Sheet Name 冷暖房設備 冷暖房機器表	Job No. 25-Pr-01 Scale noscale	Sheet No. M-02
----------	--	--	---------------------------------	-------	-------	------	---	--	---	-------------------



南校舎 1 階系統図 NOSCALE

☆ 区間距離数値は参考値とする

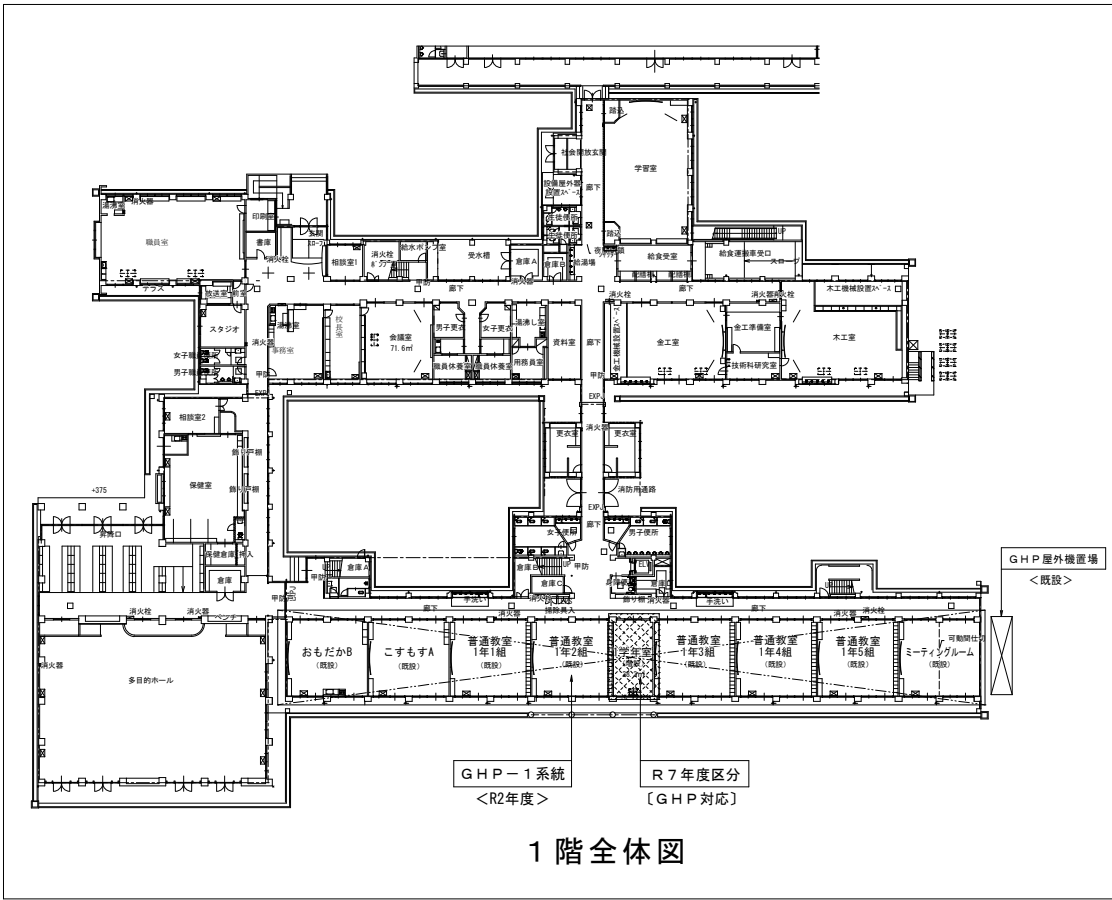
※ (既設令和 2 年度工事)

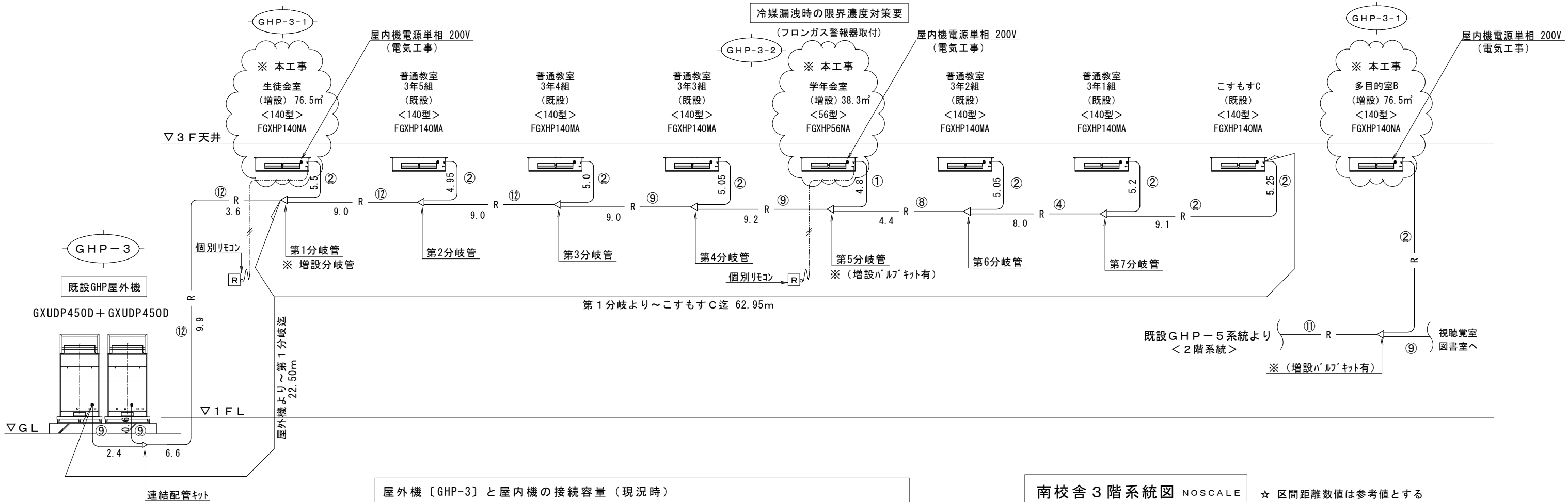
冷媒管仕様

記 号	ガス管	液 管
①	12.7φ	6.35φ
②	15.88φ	9.52φ
③	19.05φ	9.52φ
④	22.20φ	9.52φ
⑤	19.05φ	12.7φ
⑥	22.20φ	12.7φ
⑦	25.40φ	12.7φ
⑧	28.58φ	12.7φ
⑨	28.58φ	15.88φ
⑩	31.75φ	15.88φ
⑪	31.75φ	19.05φ
⑫	38.1φ	19.05φ
⑬	38.1φ	22.20φ
保温厚 (液・ガス)		
10mm/20mm 以上		
← 接続分岐管		

追加冷媒充填量

系統名称	液配管径φ	長さm 液配管合計	係 数	冷媒追加充填量kg	備 考
野沢中学校 南校舎 1 階 (GHP-1)	22.20φ	—	0.353	—	
連結設置 450型 + 560型	19.05φ	26.10	0.25	6.525	
<普通教室系統>	15.88φ	21.15	0.17	3.587	
	12.7φ	13.0	0.11	1.463	
	9.52φ	58.05	0.054	2.668	
※ 増設ﾊﾞﾙﾌﾞｷｯﾄ有	6.35φ	4.80	0.022	0.106	実質追加量 0.106
				2.00	αの値2.0kg (連結設置)
				32.00	屋外機出荷時充填量 16.0kg×2 = 32.0kg
			合 計	48.825	
					※ 実質追加量 0.11kg





屋外機〔GHP-3〕と屋内機の接続容量（現況時）	
450型+450型＝900型	＞ 840型（140型×6台）
（屋外機連続設置）	
改修予定の屋内機容量140型1台及び56型1台	
450型+450型＝900型	＜ 840型＋140型＋56型（生徒会室、学年会館）1036型
900型	＜ 1036型（115%） ※OK

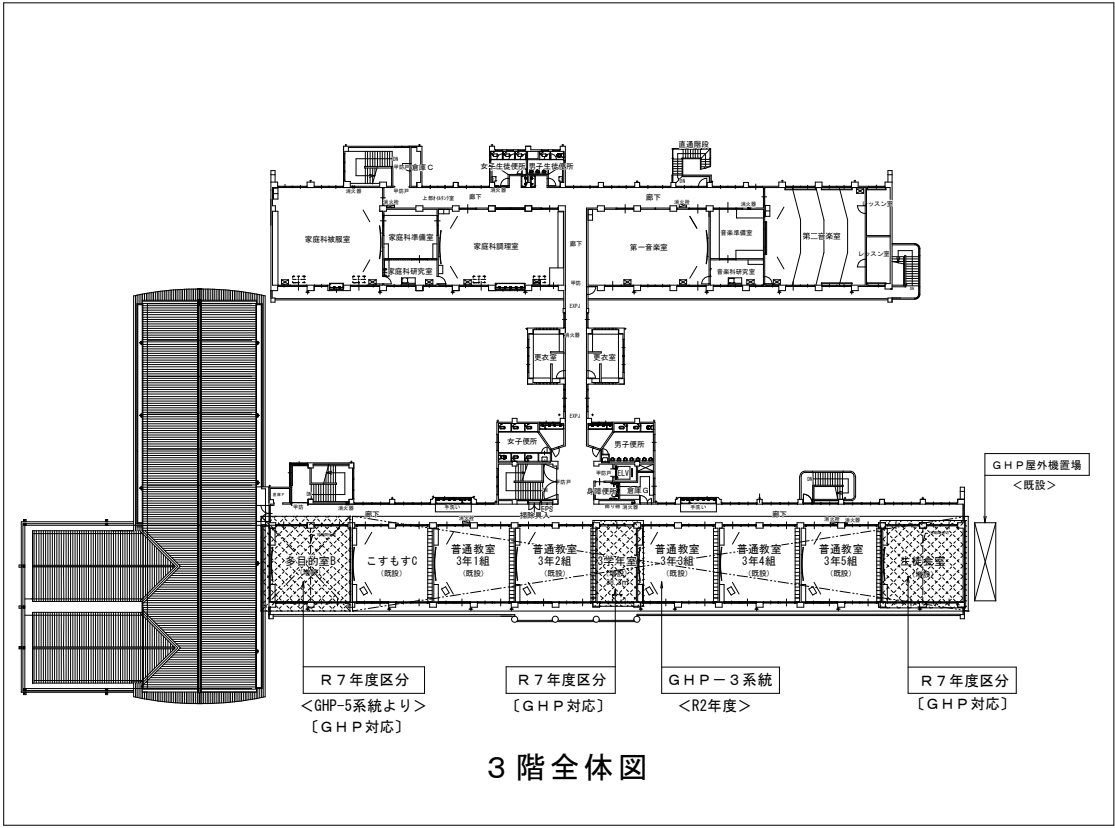
南校舎3階系統図 NOSCALE ☆ 区間距離数値は参考値とする
※（既設令和2年度工事）

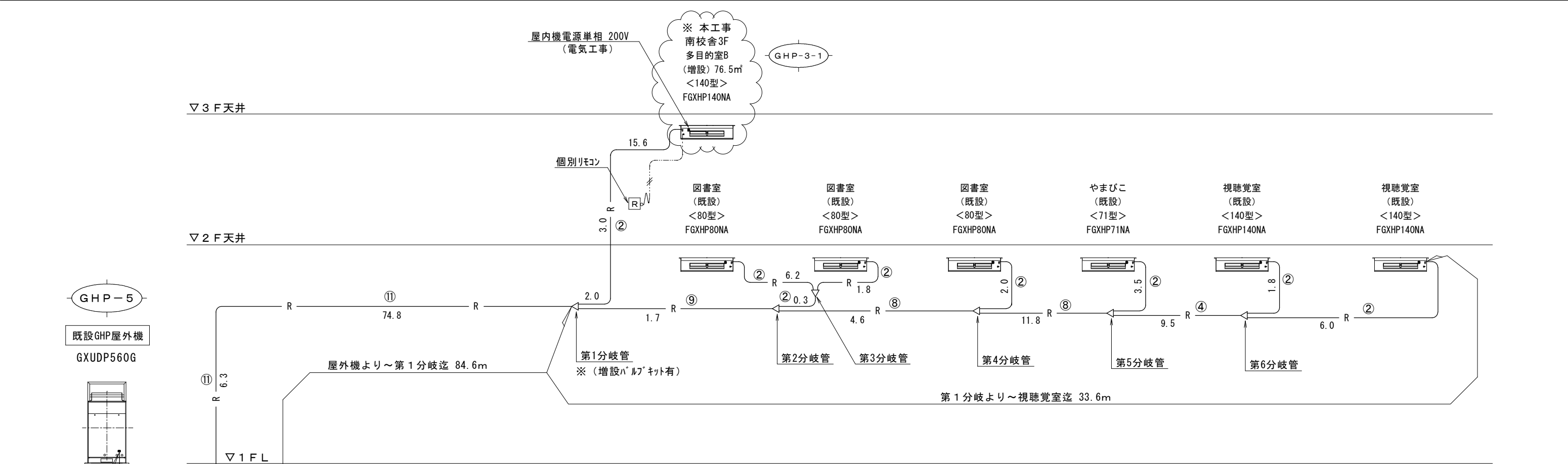
冷媒管仕様

記号	ガス管	液管
①	12.7φ	6.35φ
②	15.88φ	9.52φ
③	19.05φ	9.52φ
④	22.20φ	9.52φ
⑤	19.05φ	12.7φ
⑥	22.20φ	12.7φ
⑦	25.40φ	12.7φ
⑧	28.58φ	12.7φ
⑨	28.58φ	15.88φ
⑩	31.75φ	15.88φ
⑪	31.75φ	19.05φ
⑫	38.1φ	19.05φ
⑬	38.1φ	22.20φ
保温厚（液・ガス）		
10mm/20mm 以上		
← 接続分岐管		

追加冷媒充填量

系統名称	液配管径φ	長さm 液配管合計	係数	冷媒追加充填量kg	備考
野沢中学校 南校舎3階(GHP-3)	22.20φ	—	0.353	—	
連続設置 450型＋560型	19.05φ	38.20	0.25	9.550	
＜普通教室系統＞	15.88φ	21.20	0.17	3.604	
	12.7φ	4.40	0.11	0.484	
※ 増設分岐管取付	9.52φ	53.0	0.054	2.862	実質追加量 生徒会室分 5.5×0.054＝0.297kg
※ 増設ﾊﾞﾙﾌﾞｷｯﾄ有	6.35φ	4.8	0.022	0.106	実質追加量 0.066
				2.00	αの値2.0kg（連続設置）
				32.00	屋外機出荷時充填量 16.0kg×2 ＝32.0kg
			合計	50.606	
					※ 実質追加量 0.40kg (0.297+0.106=0.403)





屋外機〔GHP-5〕と屋内機の接続容量（現況時）		
560型	<	591型（視聴覚室140型×2、図書室80型×3、中間教室71型×1）
（屋外機単独設置）		
改修予定の屋内機容量140型		
560型	<	591型+140型=731型
560型	<	731型（130%） ※○K

南校舎西側2階系統図 NOSCALE
※（既設令和6年度工事）

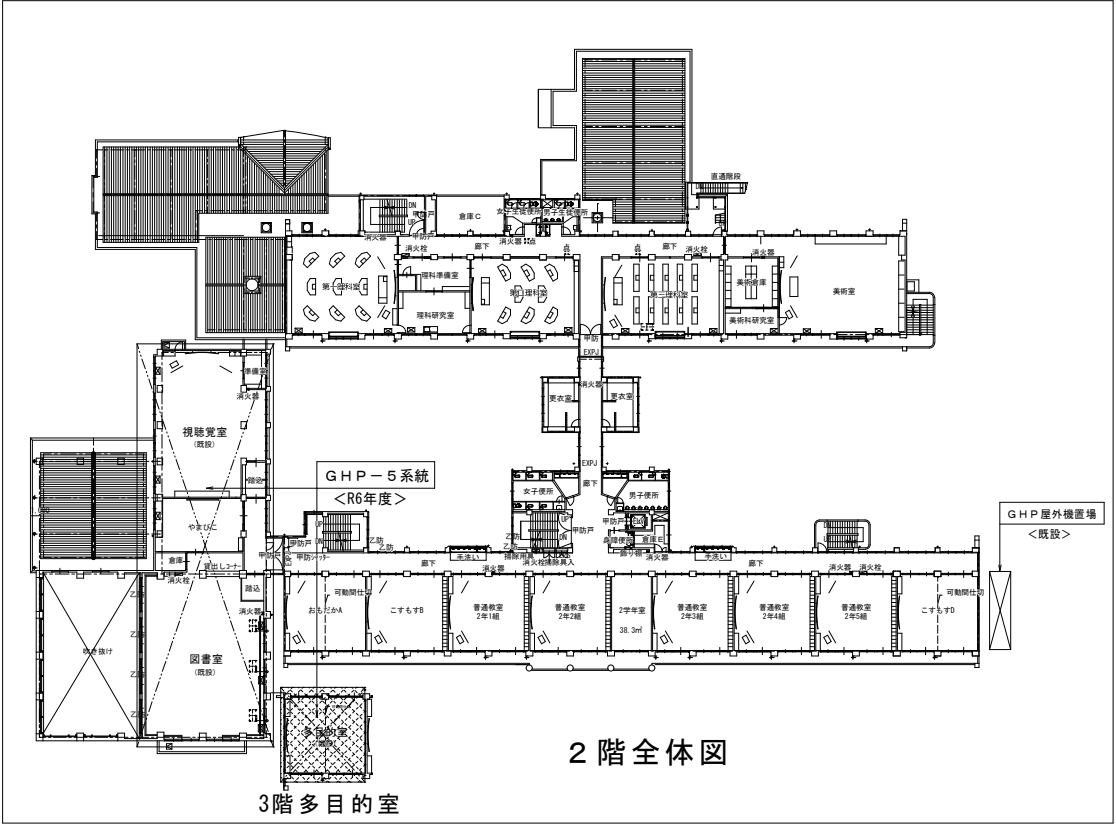
☆ 区間距離数値は参考値とする

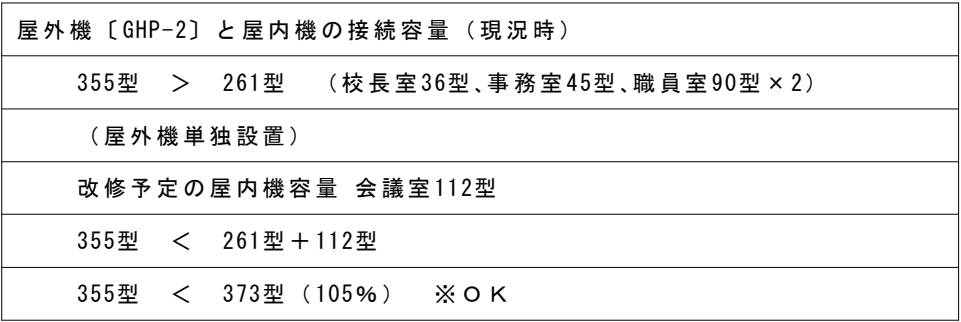
冷媒管仕様

記号	ガス管	液管
①	12.7φ	6.35φ
②	15.88φ	9.52φ
③	19.05φ	9.52φ
④	22.20φ	9.52φ
⑤	19.05φ	12.7φ
⑥	22.20φ	12.7φ
⑦	25.40φ	12.7φ
⑧	28.58φ	12.7φ
⑨	28.58φ	15.88φ
⑩	31.75φ	15.88φ
⑪	31.75φ	19.05φ
⑫	38.1φ	19.05φ
⑬	38.1φ	22.20φ
保温厚（液・ガス）		
10mm/20mm 以上		
—◁ 接続分岐管		

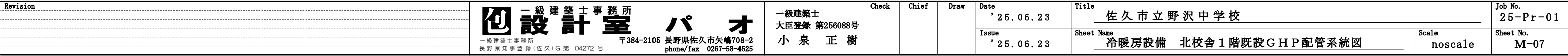
追加冷媒充填量

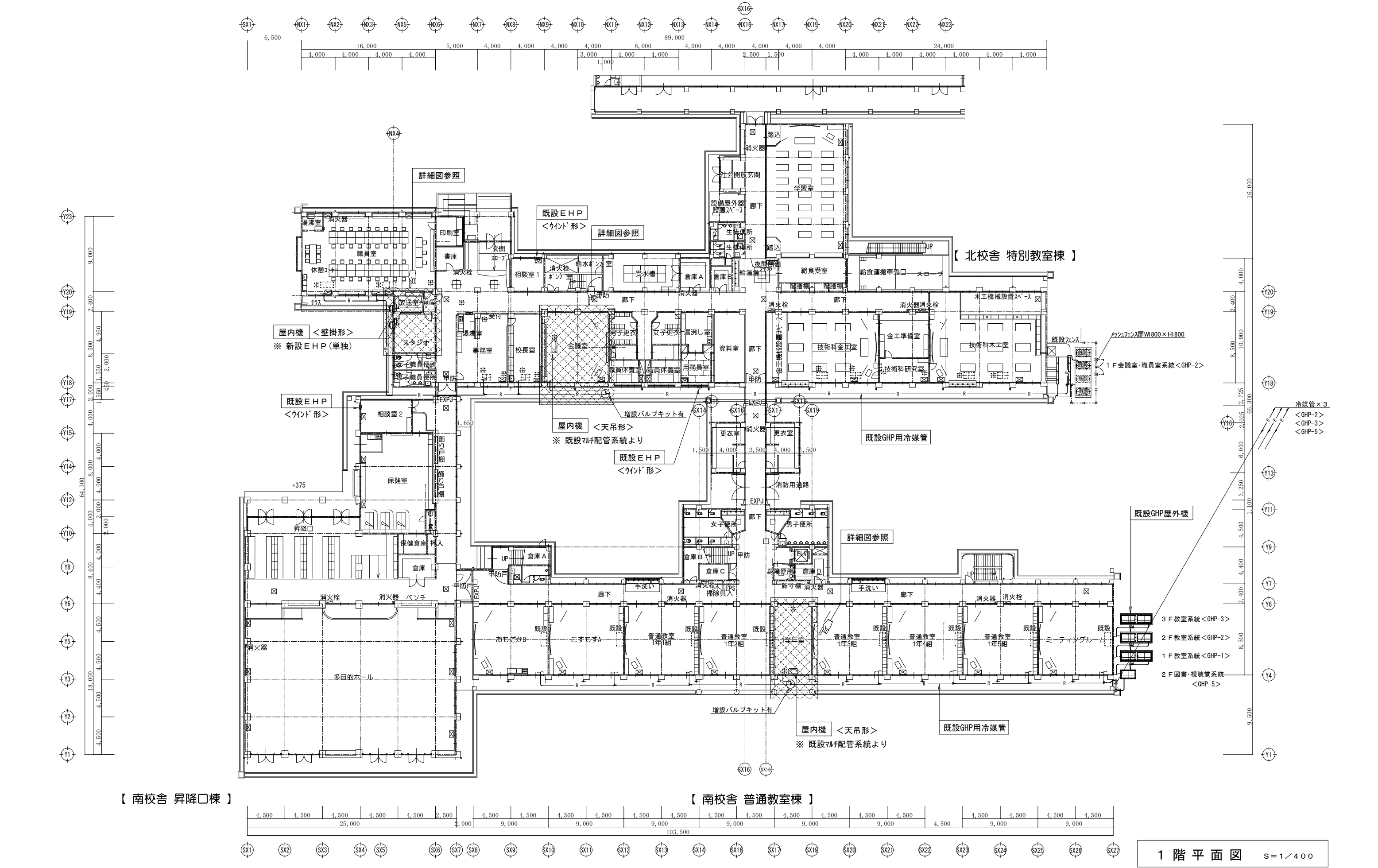
系統名称	液配管径φ	長さm 液配管合計	係数	冷媒追加充填量kg	備考
野沢中学校 南校舎 西側2階（GHP-5）	22.20φ	—	0.353	—	
単独設置 560型	19.05φ	84.60	0.25	21.15	
<視聴覚・図書室系統>	15.88φ	1.70	0.17	0.289	
	12.7φ	16.40	0.11	1.804	
※ 増設ﾊﾞﾙﾌﾞｷｯﾄ有	9.52φ	51.7	0.054	2.792	実質追加量 多目的室分 20.6×0.054 = 1.112kg
	6.35φ	—		—	
				1.00	αの値1.0kg（単独設置）
				11.50	屋外機出荷時充填量 11.5kg×1 = 11.50kg
			合計	38.535	
					※ 実質追加量 1.1kg

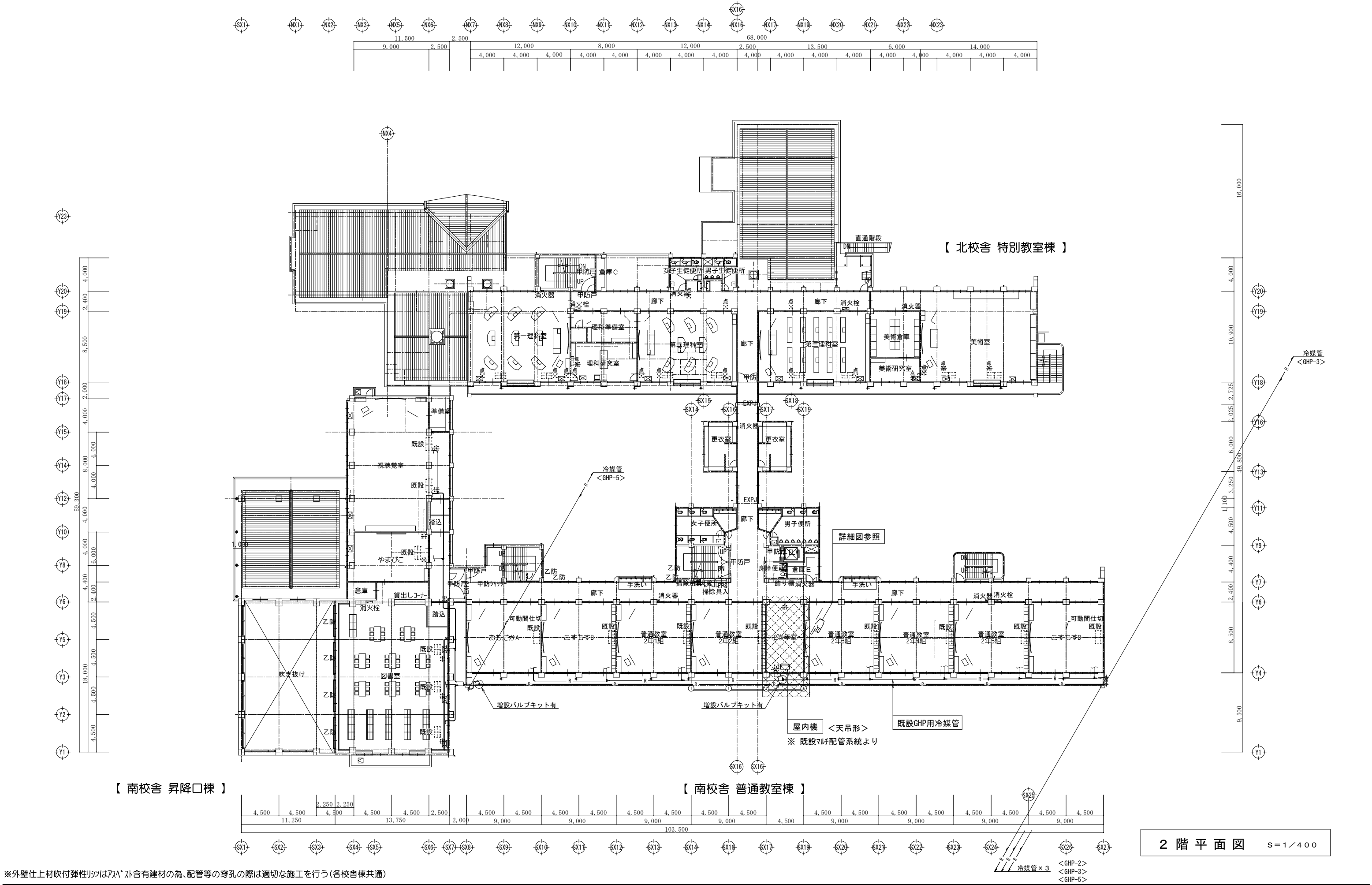


追加冷媒充填量

系 統 名 称	液 配 管 径 φ	長 さ m 液配管合計	係 数	冷 媒 追 加 充 填 量 kg	備 考
野沢中学校 北校舎 1 階 (GHP-2)	22.20 φ	—	0.353	—	
単 独 設 置 560 型	19.05 φ	—	0.25	—	
<会議室・職員室系統>	15.88 φ	—	0.17	—	
	12.7 φ	65.9	0.11	7.249	
※ 増設バルブキット有	9.52 φ	60.9	0.054	3.289	実質追加量 多目的室分 12.0×0.054 = 0.648kg
	6.35 φ	3.5	0.022	0.077	
				1.00	αの値1.0kg（単独設置）
				11.50	屋外機出荷時充填量 11.5kg×1 = 11.50kg
			合 計	23.115	
					※ 実質追加量 0.65kg

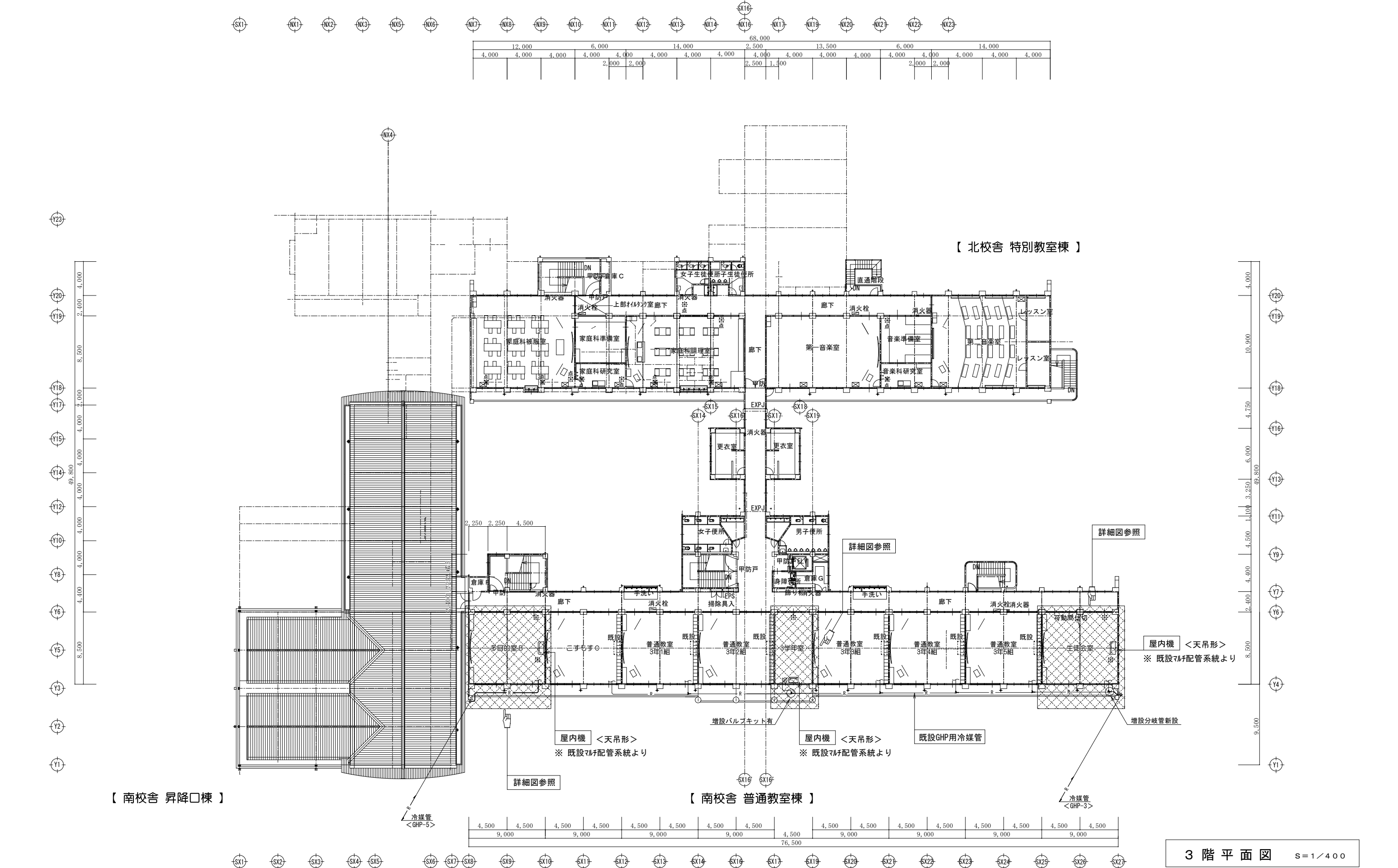






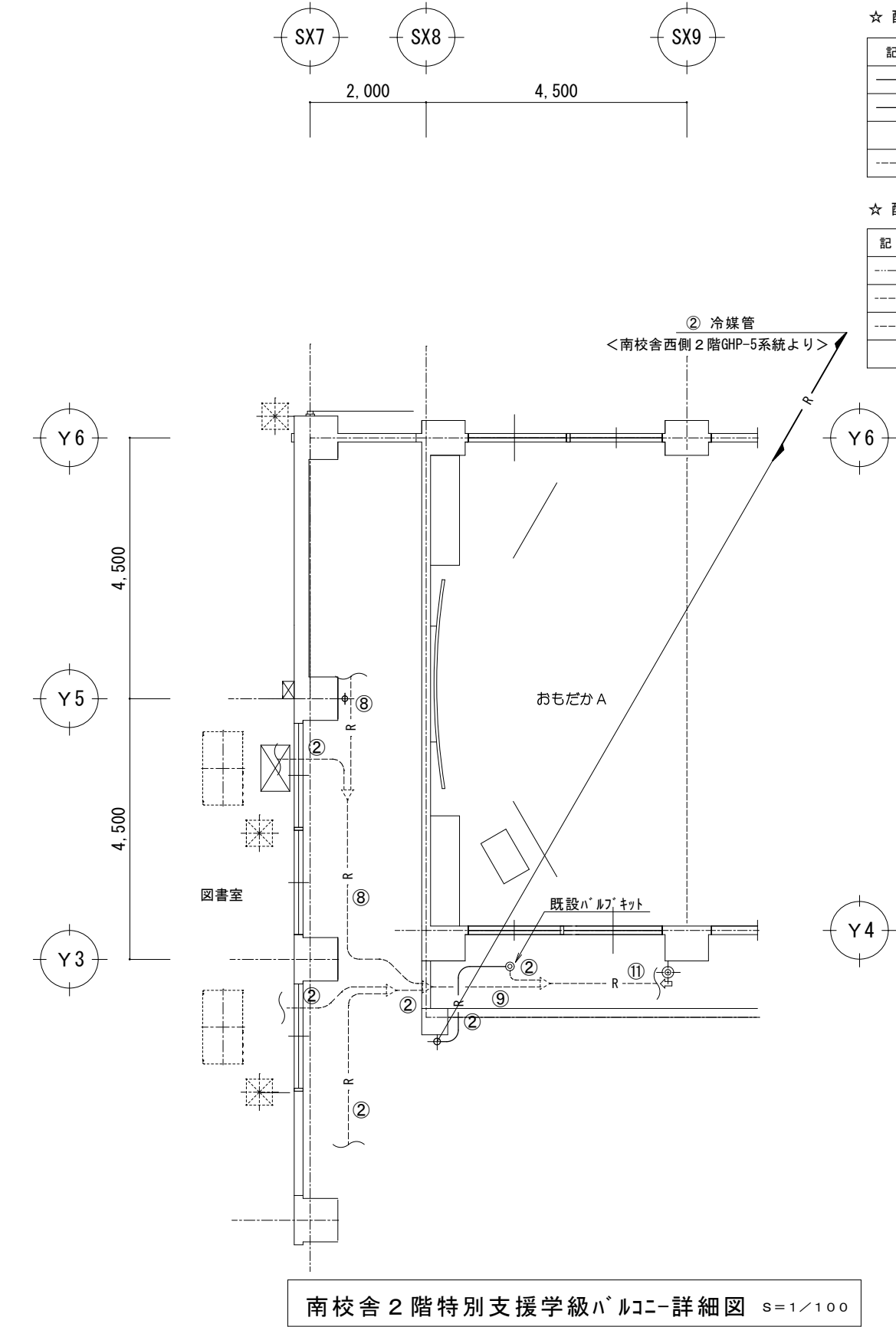
※外壁仕上材吹付弾性リツはアハト含有建材の為、配管等の穿孔の際は適切な施工を行う(各校舎棟共通)

Revision	一級建築士事務所 設計室 一級建築士事務所 長野県知事登録(佐久)F第 54272 号 〒384-2105 長野県佐久市矢嶋708-2 phone/fax 0267-58-4525		Check	Chief	Draw	Date	Title		Job No.
						' 25.06.23	佐久市立野沢中学校		25-Pr-01
						Issue	Sheet Name	Scale	Sheet No.
					' 25.06.23	冷暖房設備 2階冷暖房設備図	1/400	M-09	



※外壁仕上材吹付弾性リツはPSA*社含有建材の為、配管等の穿孔の際は適切な施工を行う（各校舍棟共通）

Revision	一級建築士事務所 設計室 一級建築士事務所 長野県知事登録(佐久)F第 54272号 〒384-2105 長野県佐久市矢嶋708-2 phone/fax 0267-58-4525	Check	Chief	Draw	Date	Title		Job No.
					' 25.06.23	佐久市立野沢中学校		25-Pr-01
					Issue	Sheet Name	Scale	Sheet No.
					' 25.06.23	冷暖房設備 3階冷暖房設備図	1/400	M-10



☆ 配管凡例

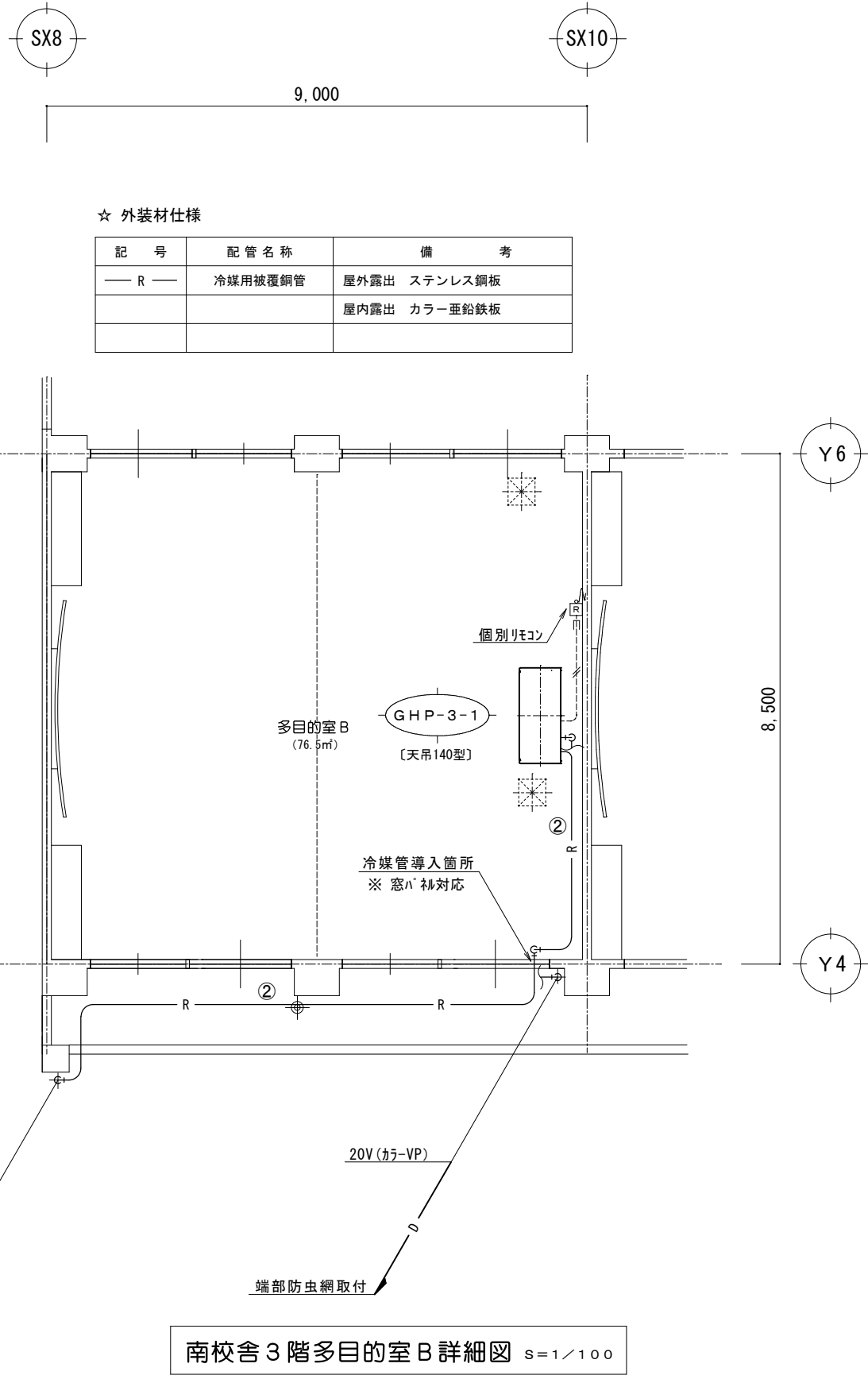
記 号	配 管 名 称	備 考
— R —	冷媒用被覆銅管	保温 (10t~20t) ※ 冷媒継手は火無し継手を使用の事
— D —	ドレン管	屋内 硬質ポリ塩化ビニル管 (保温付ドレンパイプ)
	〃	屋外 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 露出部はカラーパイプ
---- R ----	冷媒用被覆銅管	既設管

☆ 配線凡例

記 号	配 線 名 称	配線サイズ	備 考
-----	室内外操作連絡配線	EM-CEE 2.0□-3C	冷媒配管共巻
-----	リモコン操作線	EM-CEES1.25□-2C	天井内(コトシ)
-----	リモコン操作線	EM-CEES1.25□-2C	立下げ露出 一種金属線びA型
Ⓜ	個別リモコン		露出2個用スイッチボックスA型取付

冷媒管仕様

記 号	ガス管	液 管
①	12.7φ	6.35φ
②	15.88φ	9.52φ
③	19.05φ	9.52φ
④	22.20φ	9.52φ
⑤	19.05φ	12.7φ
⑥	22.20φ	12.7φ
⑦	25.40φ	12.7φ
⑧	28.58φ	12.7φ
⑨	28.58φ	15.88φ
⑩	31.75φ	15.88φ
⑪	31.75φ	19.05φ
⑫	38.1φ	19.05φ
⑬	9.52φ	6.35φ
保温厚 (液・ガス)		
10mm/20mm 以上		
← 接続分岐管		



☆ 外装材仕様

記 号	配 管 名 称	備 考
— R —	冷媒用被覆銅管	屋外露出 ステンレス鋼板
		屋内露出 カラー亜鉛鉄板

南校舎3階多目的室B詳細図 S=1/100

※ 南校舎西側2階系統 (GHP-5) の冷媒配管施工完了後、増設バルブキットから屋内機迄真空引きし
屋外機側より冷媒追加充填 (1.1kg) を適正に行う

